

# 「2017年卒学生の就職活動の実態に関する調査」

公益社団法人全国求人情報協会の専門部会である「新卒等若年雇用部会」は、調査・研究活動の一環で、民間企業・団体への就職活動を経験した全国の大学4年生・大学院2年生を対象とするアンケート調査を実施し、2年連続のスケジュール変更となった2017年卒学生の就職活動実態をまとめましたので、ご報告します。

※スケジュール変更の詳細はP36に掲載しております。

## TOPICS

- 民間企業・団体への就職活動を経験した大学生/大学院生の9割が3月時点で進路確定。(P2)
- 就職先確定者への就職先の満足度は、大学生で約9割、大学院生で9割半ば。(P3)
- 志望勤務地は、都市部・首都圏派:4割、地方派:2割半ば、こだわらない派:1割後半。  
就職予定先を選ぶ際の重視点は、地方派は「勤務地」、それ以外は「業種」がトップ。(P28-P31)
- 志望従業員規模は、大手派:4割半ば、中堅・中小派/こだわらない派:2割半ば。(P32-P35)

## CONTENTS

①卒業後の進路確定状況..... 2	⑦就職予定先に関する情報源..... 21
②就職予定先への満足度、評価..... 3	⑧就職先を選ぶ際の重視点..... 24
③就職活動の開始時期、終了時期、実施期間..... 5	⑨在学中に実施したこと..... 26
④就職活動の各プロセスの活動量..... 9	⑩就職活動による各活動への支障状況..... 27
⑤知りたかった情報、知ることができた情報..... 14	⑪勤務地の志向..... 28
⑥就職活動終了時期別の活動状況..... 16	⑫従業員規模の志向..... 32

### ●調査の概要

- 1) 調査目的: 大学生や大学院生の就職活動の実態を把握し、関係各位の参考に供する。
- 2) 調査対象: 民間企業・団体への就職活動を在学中に経験した(\*)全国の大学4年生・大学院2年生 1035名 \*就職活動の経験者を、プレントリー(資料・採用情報の請求)、説明会、書類選考、対面選考のいずれか1つ以上の経験者と定義した。当該の条件を満たす995名で集計を実施
- 3) 調査時期: 2017年3月13日～28日
- 4) 調査方法: インターネット調査(調査実施機関:株式会社マクロミル)ーマクロミル社のモニターにスクリーニング調査を行って対象者を抽出し、学校種別、性別、専攻系統(文理)の構成比が母集団に近づくよう、「文部科学省学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。

#### 《地域区分の内訳》

- 関東＝ 東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県
- 中部＝ 静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
- 近畿＝ 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県
- その他地域・計＝「関東」「中部」「近畿」以外の地域

#### <回収数>

大学生	884
文系	594
国公立	119
私立	475
理系	290
国公立	93
私立	197
大学院生	111

※ウェイトバック集計を行っているため、N数の内訳を足し合わせても合計と一致しない場合がある。

お問い合わせ先/公益社団法人全国求人情報協会 業務部・佐藤日出男 Tel03-3288-0881 cyousa@zenkyukyo.or.jp  
調査リリース資料は、こちらからダウンロードできます。 <https://www.zenkyukyo.or.jp/outline/houkoku/20170630.pdf>

①卒業後の進路確定状況

**民間企業・団体への就職活動を経験した大学生/大学院生の9割半ばが3月時点で進路を確定。  
その他地域の大学生の進路確定者が前年から改善し、地域間格差は縮小。**

民間企業・団体への就職活動経験者は、調査を実施した3月時点では、大学生・大学院生ともに9割半ばが卒業後の進路を確定している。属性別にみると、大学生の文理別、エリア別はいずれも9割超。

2016年調査と比べると、国公立大学の理系大学生で「民間企業・団体に就職する」「民間企業・団体以外(公務員、教員など)に就職する」が上昇し、就職確定者が前年から20ポイント増加している。また、その他地域の大学生は、2016年調査で唯一、卒業後の進路確定者が9割を下回っていたが、「民間企業・団体に就職する」が上昇したことで、他地域と同水準となっている。(図表1)

図表1 卒業後の進路確定状況(単一回答、単位=%)

	n=	民間企業・団体に就職する	民間企業・団体以外(公務員、教員など)に就職する	就職確定者・計	起業する	大学院などへ進学する	留学する	パート、アルバイトなどの臨時的収入を目的とした仕事に就く	留年するので、卒業しない	その他	進路確定者・計	まだ進路が確定していない
大学生	884	81.9 (5.3)	5.4 (0.9)	<u>87.2</u> (6.2)	- (-)	3.5 (-2.6)	- (-0.3)	2.0 (-0.1)	1.2 (-2.1)	0.6 (0.0)	<u>94.5</u> (1.1)	5.5 (-1.1)
文系	594	84.6 (5.3)	5.7 (-0.1)	<u>90.3</u> (5.2)	- (-)	1.2 (-1.1)	- (-0.5)	1.7 (-0.7)	1.4 (-1.3)	0.4 (-0.1)	<u>95.0</u> (1.6)	5.0 (-1.6)
国公立	119	74.1 (-1.4)	10.2 (-0.4)	<u>84.3</u> (-1.8)	- (-)	2.2 (-8.8)	- (-)	2.7 (2.7)	1.6 (-1.3)	1.1 (1.1)	<u>91.9</u> (-8.1)	8.1 (8.1)
私立	475	87.3 (7.7)	4.6 (-0.9)	<u>91.8</u> (6.8)	- (-)	1.0 (-0.7)	- (-0.5)	1.4 (-1.1)	1.3 (-1.3)	0.3 (-0.3)	<u>95.8</u> (2.8)	4.2 (-2.8)
理系	290	76.2 (5.3)	4.7 (2.7)	<u>80.9</u> (8.0)	- (-)	8.2 (-5.5)	- (-)	2.6 (1.1)	0.8 (-3.7)	0.9 (0.3)	<u>93.5</u> (0.1)	6.5 (-0.1)
国公立	93	67.6 (12.3)	10.6 (10.6)	<u>78.2</u> (22.9)	- (-)	15.7 (-14.0)	- (-)	- (-7.5)	1.9 (-5.7)	- (-)	<u>95.7</u> (-4.3)	4.3 (4.3)
私立	197	80.3 (5.4)	1.9 (-0.7)	<u>82.2</u> (4.8)	- (-)	4.7 (-5.0)	- (-)	3.8 (3.8)	0.4 (-3.4)	1.4 (0.6)	<u>92.4</u> (0.7)	7.6 (-0.7)
関東	342	80.3 (5.5)	6.2 (1.1)	<u>86.4</u> (6.6)	- (-)	2.3 (-3.5)	- (-)	2.0 (-0.9)	1.2 (-3.5)	0.2 (0.2)	<u>92.1</u> (-1.2)	7.9 (1.2)
中部	108	87.0 (1.2)	6.0 (-0.3)	<u>93.0</u> (0.9)	- (-)	3.8 (2.6)	- (-)	0.6 (-1.7)	0.7 (-3.2)	- (-0.6)	<u>98.1</u> (-1.9)	1.9 (1.9)
近畿	209	83.5 (3.5)	5.1 (3.6)	<u>88.6</u> (7.1)	- (-)	5.7 (-2.4)	- (-1.5)	1.6 (0.9)	0.6 (-0.9)	0.3 (-0.4)	<u>96.8</u> (2.7)	3.2 (-2.7)
その他	226	80.3 (10.3)	4.2 (-1.5)	<u>84.5</u> (8.8)	- (-)	3.2 (-4.6)	- (-)	3.0 (1.3)	1.9 (0.7)	1.8 (-0.0)	<u>94.4</u> (6.2)	5.6 (-6.2)
大学院生	111	82.9 (6.5)	4.5 (-0.9)	<u>87.4</u> (5.6)	- (-0.7)	3.6 (0.2)	- (-)	0.9 (-0.5)	3.6 (1.6)	0.9 (-0.5)	<u>96.4</u> (5.9)	3.6 (-5.9)

\* カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。

\* 2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

②就職予定先への満足度、評価

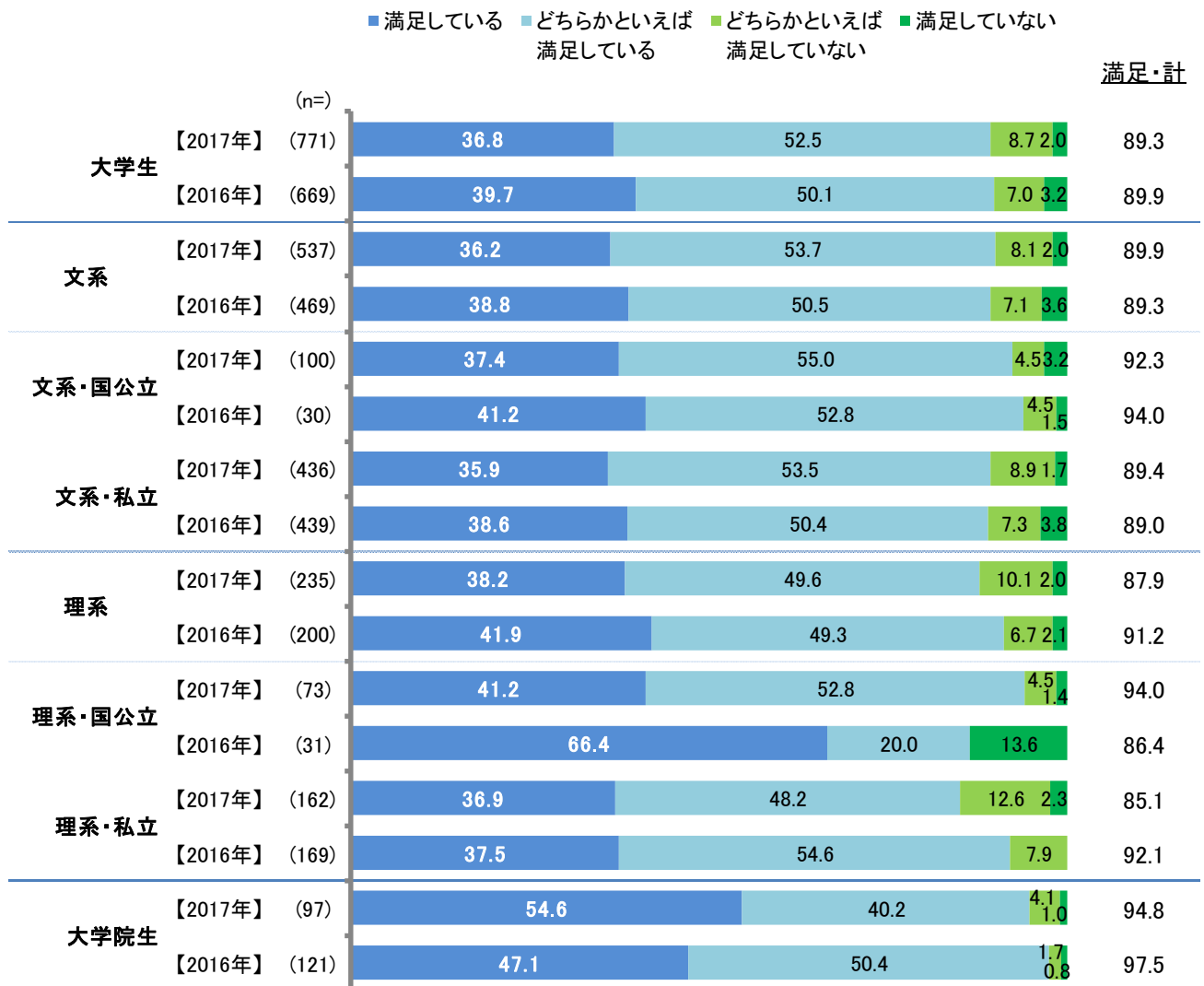
**就職先確定者の就職先への満足度は、大学生で約9割、大学院生で9割半ばで、引き続き高い水準。**

就職確定者の就職先への満足・計(\*)は、大学生が約9割、大学院生が9割半ばとなっている。特に、大学院生は、「満足している」の割合が5割半ばと、大学生を約20ポイント上回っている。属性別にみると、国公立大学の理系大学生の満足・計が比較的高い。

2016年調査と比べると、私立大学の理系大学生で満足・計が低下し、1割半ばが「どちらかといえば満足していない」「満足していない」と回答している。また、大学院生で「満足している」の割合が増加している。(図表2)

\*「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答者を合計

図表2 就職確定者の就職先への満足度状況(単一回答、単位=%)



※満足・計:「満足している」+「どちらかといえば満足している」

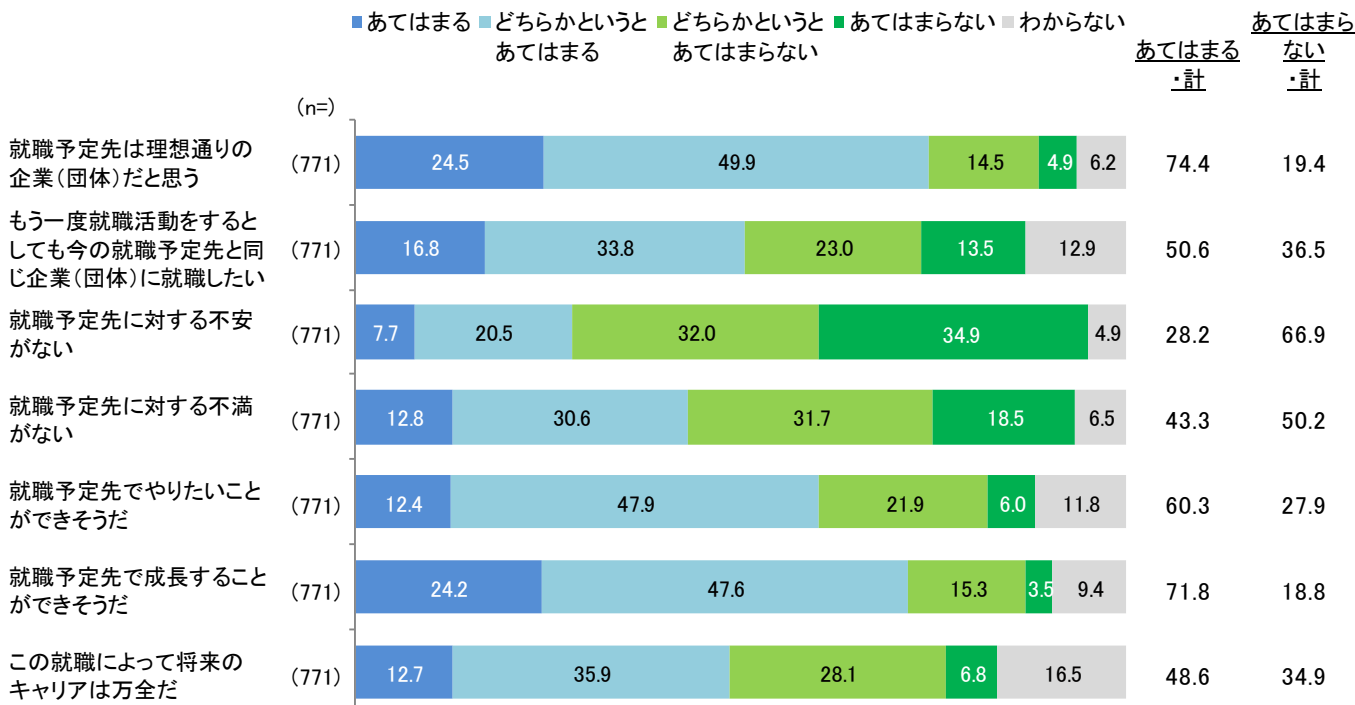
②就職予定先への満足度、評価

**就職予定先の評価は、「理想通りの企業だと思う」「成長することができそうだ」が7～8割。一方で、6割～6割半ばが「就職予定先に対する不安がある」と回答。**

大学生の就職確定者における就職予定先への評価(\*)は、「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先で成長することができそうだ」は7～8割を占めるが、「就職予定先に対する不安がない」「就職予定先に不満がない」のが低い。「就職予定先に対する不満がない」は大学生よりも大学院生の割合が高い。「もう一度就職活動をするとしても今の就職予定先と同じ企業(団体)に就職したい」割合も大学生より大学院生の方が高い。(図表3-1～2)

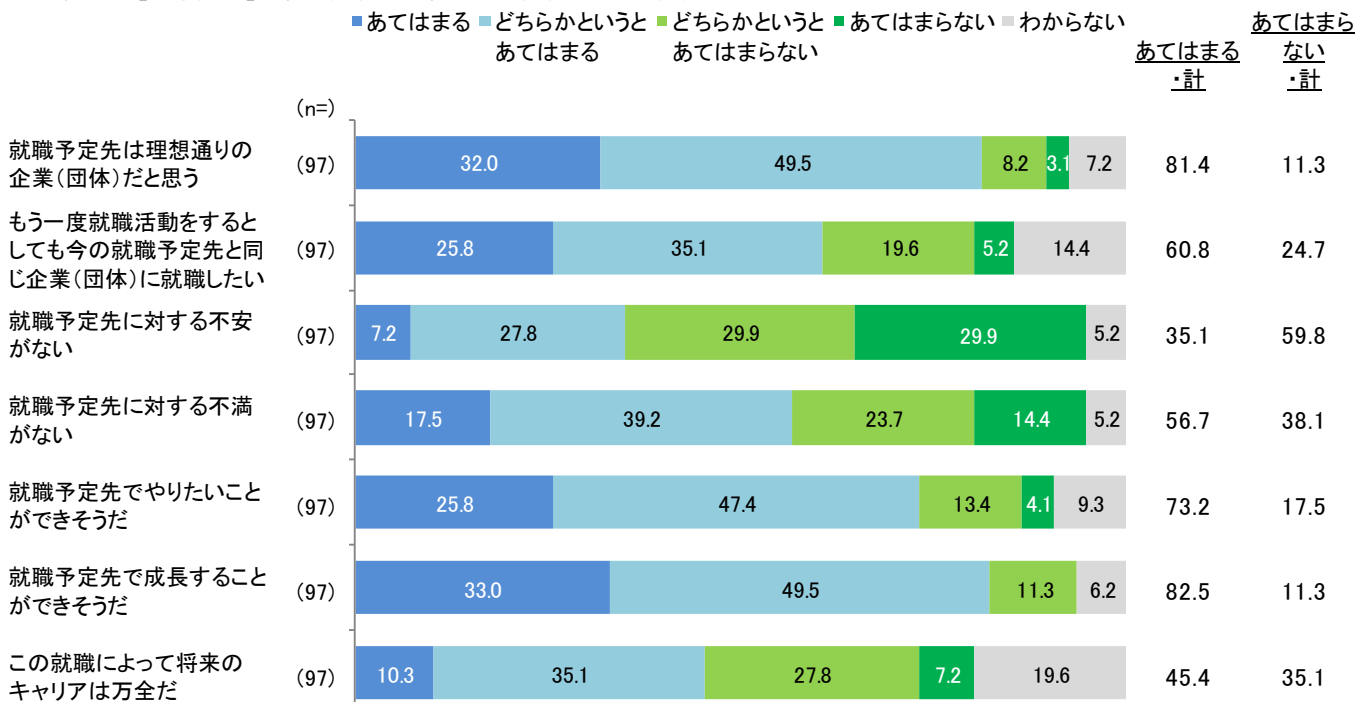
\*「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の回答者を合計

図表3-1 【大学生】就職確定者の就職先への評価(単一回答、単位=%)



※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」/あてはまらない・計:「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」

図表3-2 【大学院生】就職確定者の就職先への評価(単一回答、単位=%)



※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」/あてはまらない・計:「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」

③就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

**就職活動に関する情報収集の開始時期は、「大学3年/大学院1年の6～9月頃」が最も高い。終了時期は「大学4年/大学院2年の6月頃」に早まり、前年より実施期間が短縮。**

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の6～9月頃」が最も高い。属性別にみると、理系大学生で開始時期が二極化しており、国公立大学の理系大学生では「大学3年/大学院1年の6～9月頃」と「大学3年/大学院1年の1～2月頃」が高い。一方、私立大学の理系大学生では、2016年調査から「大学4年/大学院2年の4～5月頃」の割合が増加しており、開始時期が分散している。

プレントリー、企業説明会の開始時期は、いずれの属性でも「大学3年/大学院1年の3月頃」が最も高い。特に、国公立大学生で、2016年調査と比べて「大学3年/大学院1年の3月頃」の割合が増加している。（図表4）

図表4 就職活動の開始時期（単一回答、単位=%）

	n=	大学3年/大学院1年					大学4年/大学院2年				
		5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降	
就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集	大学生	828	13.3 (-0.9)	<b>19.0</b> (0.5)	14.6 (1.3)	8.5 (-0.2)	16.8 (0.5)	14.8 (-2.1)	8.6 (1.1)	2.9 (1.0)	1.5 (-1.2)
	文系	561	12.3 (-3.0)	<b>21.0</b> (5.2)	16.3 (3.7)	8.0 (-0.2)	17.6 (0.7)	13.7 (-4.8)	7.7 (-0.8)	2.0 (-0.6)	1.5 (-0.3)
	国公立	108	11.3 (3.6)	<b>21.0</b> (-6.7)	20.8 (5.0)	8.2 (0.8)	17.8 (0.2)	16.1 (9.8)	2.4 (-8.7)	1.2 (-2.1)	1.2 (-1.8)
	私立	453	12.5 (-3.2)	<b>21.0</b> (5.9)	15.2 (2.8)	8.0 (-0.3)	17.5 (0.7)	13.1 (-6.1)	8.9 (0.7)	2.2 (-0.3)	1.6 (-0.2)
	理系	267	15.4 (3.5)	15.0 (-9.0)	11.1 (-3.8)	9.6 (-0.2)	15.1 (-0.1)	<b>17.0</b> (3.4)	10.5 (4.9)	4.9 (4.2)	1.5 (-2.9)
	国公立	86	7.7 (0.2)	21.9 (-18.5)	12.9 (5.8)	10.5 (10.5)	<b>22.7</b> (15.1)	16.1 (8.6)	5.1 (-10.0)	3.2 (3.2)	- (-15.0)
	私立	180	<b>19.0</b> (5.9)	11.7 (-7.7)	10.2 (-6.8)	9.1 (-3.4)	11.6 (-5.8)	17.5 (2.1)	13.1 (10.1)	5.7 (4.8)	2.3 (0.8)
	大学院生	105	14.3 (1.2)	<b>18.1</b> (-4.4)	15.2 (4.4)	7.6 (-4.0)	17.1 (-0.2)	17.1 (4.1)	8.6 (2.8)	- (-3.6)	1.9 (-0.3)
プレントリー	大学生	832	5.1 (0.4)	8.0 (-0.3)	5.0 (1.0)	6.7 (3.1)	12.9 (2.8)	<b>45.7</b> (-3.7)	12.8 (0.9)	1.9 (-1.8)	2.0 (-2.4)
	文系	569	5.2 (0.4)	8.1 (2.5)	6.0 (1.4)	7.0 (2.9)	11.2 (0.3)	<b>46.7</b> (-3.5)	11.8 (-1.7)	1.9 (-0.9)	2.1 (-1.4)
	国公立	112	4.5 (4.5)	5.8 (-2.6)	5.1 (5.1)	2.3 (-2.1)	12.5 (-13.3)	<b>56.7</b> (16.4)	9.7 (-7.4)	1.7 (0.3)	1.7 (-1.0)
	私立	457	5.3 (0.2)	8.7 (3.3)	6.2 (1.3)	8.2 (4.1)	10.9 (0.9)	<b>44.3</b> (-6.6)	12.3 (-1.0)	2.0 (-1.0)	2.1 (-1.3)
	理系	263	5.0 (0.5)	7.6 (-6.3)	2.8 (0.2)	6.1 (3.4)	16.4 (8.2)	<b>43.5</b> (-4.2)	15.0 (6.4)	1.8 (-3.7)	1.8 (-4.5)
	国公立	85	1.9 (1.9)	12.1 (-25.1)	1.2 (1.2)	6.7 (6.7)	14.4 (6.9)	<b>50.8</b> (25.1)	11.7 (8.1)	0.6 (-10.4)	0.6 (-14.4)
	私立	178	6.6 (0.7)	5.5 (-2.0)	3.6 (0.2)	5.7 (2.3)	17.4 (9.0)	<b>40.1</b> (-13.7)	16.6 (6.5)	2.3 (-1.6)	2.3 (-1.5)
	大学院生	106	6.6 (2.3)	6.6 (-0.5)	5.7 (2.8)	5.7 (2.1)	16.0 (-0.4)	<b>47.2</b> (-2.8)	11.3 (2.7)	0.9 (-2.6)	- (-3.6)

\* カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。 \* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

\* 2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

③就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

※前ページより続き		n=	大学3年／大学院1年					大学4年／大学院2年			
			5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降
企業説明会	大学生	856	5.1 (0.6)	7.3 (1.2)	6.4 (0.5)	4.5 (1.4)	13.1 (1.6)	<b>41.5</b> (-2.8)	15.6 (-0.3)	3.8 (-1.0)	2.6 (-1.2)
	文系	579	5.2 (0.7)	7.3 (3.2)	7.2 (1.3)	5.0 (1.5)	13.6 (1.9)	<b>42.1</b> (-1.9)	13.8 (-3.8)	3.0 (-2.2)	2.8 (-0.8)
	国公立	110	5.2 (2.2)	5.3 (-3.0)	5.2 (3.9)	1.7 (-1.2)	11.6 (-9.6)	<b>54.7</b> (20.9)	14.0 (-5.6)	0.6 (-6.7)	1.7 (-0.9)
	私立	468	5.2 (0.6)	7.8 (4.0)	7.7 (1.5)	5.7 (2.3)	14.0 (3.0)	<b>39.1</b> (-5.5)	13.7 (-3.7)	3.6 (-1.5)	3.0 (-0.6)
	理系	278	5.0 (0.5)	7.1 (-3.0)	4.7 (-1.0)	3.5 (0.9)	12.1 (1.0)	<b>40.4</b> (-4.7)	19.4 (7.0)	5.4 (1.5)	2.4 (-2.2)
	国公立	90	1.2 (1.2)	<b>12.0</b> (-21.3)	5.6 (-2.8)	2.5 (2.5)	13.6 (1.1)	<b>46.3</b> (21.4)	<b>14.6</b> (10.6)	3.1 (-5.3)	1.2 (-7.3)
	私立	188	6.9 (1.3)	4.8 (0.1)	4.3 (-0.8)	4.0 (0.8)	11.4 (0.6)	<b>37.6</b> (-12.2)	21.6 (7.3)	6.5 (3.7)	2.9 (-0.7)
	大学院生	103	6.8 (2.5)	5.8 (0.1)	5.8 (2.2)	5.8 (2.2)	9.7 (-6.8)	<b>52.4</b> (9.3)	10.7 (-3.0)	1.0 (-4.8)	1.9 (-1.7)

\* カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。 \* 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。

\* 2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

③就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の終了時期は、大学生・大学院生ともに「大学4年/大学院2年の6月頃」がピークとなっており、2016年調査の「大学4年/大学院2年の8月頃」から時期が早まっている。なお、「大学4年/大学院2年の7月頃」までに就職活動を終了した学生の割合は、大学生で28% (2016年卒)から52%に、大学院生で20% (2016年卒)から63%に、いずれも大きく増加している。

属性別にみると、文系大学生は「大学4年の10～3月頃」が高く、理系大学生よりも終了時期が遅く、私立大学生でその傾向が強い。(図表5)

図表5 就職活動の終了時期(単一回答、単位=%)

	n=	大学3年/ 大学院1年 の3月以前	大学4年/大学院2年							活動継続中
			4月頃	5月頃	6月頃	7月頃	8月頃	9月頃	10～3月頃	
大学生	884	6.4 (0.5)	2.9 (0.7)	6.1 (1.5)	<b>22.1</b> (16.3)	14.5 (5.3)	10.4 (-11.6)	8.0 (-5.3)	21.3 (-5.2)	8.2 (-2.3)
文系	594	6.1 (1.7)	1.5 (-0.1)	4.9 (2.2)	<b>23.0</b> (18.2)	14.9 (5.7)	10.0 (-14.9)	8.1 (-5.8)	<b>24.3</b> (-3.8)	7.2 (-3.3)
国公立	119	5.9 (2.0)	2.8 (1.5)	2.1 (0.8)	<b>30.3</b> (22.2)	11.4 (6.2)	9.7 (-29.6)	10.3 (-1.7)	18.3 (-2.0)	9.2 (0.5)
私立	475	6.2 (1.8)	1.2 (-0.4)	5.6 (2.8)	21.2 (16.6)	15.7 (6.3)	10.1 (-13.9)	7.5 (-6.5)	<b>25.8</b> (-2.8)	6.7 (-3.9)
理系	290	7.0 (-1.9)	5.7 (2.4)	8.6 (0.1)	<b>20.3</b> (12.4)	13.7 (4.5)	11.4 (-4.8)	7.7 (-4.2)	15.1 (-8.1)	10.4 (-0.4)
国公立	93	2.2 (-19.9)	13.5 (2.4)	3.4 (-0.2)	<b>28.8</b> (28.8)	13.6 (6.1)	12.9 (5.7)	7.6 (-18.4)	13.2 (5.7)	4.8 (-10.2)
私立	197	9.3 (3.8)	2.0 (0.7)	11.1 (1.3)	<b>16.3</b> (6.4)	13.8 (4.1)	10.6 (-7.8)	7.8 (-0.5)	16.0 (-11.2)	13.1 (3.3)
大学院生	111	9.0 (5.6)	5.4 (2.7)	13.5 (10.1)	<b>27.9</b> (21.8)	7.2 (2.5)	13.5 (-23.0)	5.4 (-5.4)	12.6 (-7.7)	5.4 (-6.8)

\*カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。 \*属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。

\*2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

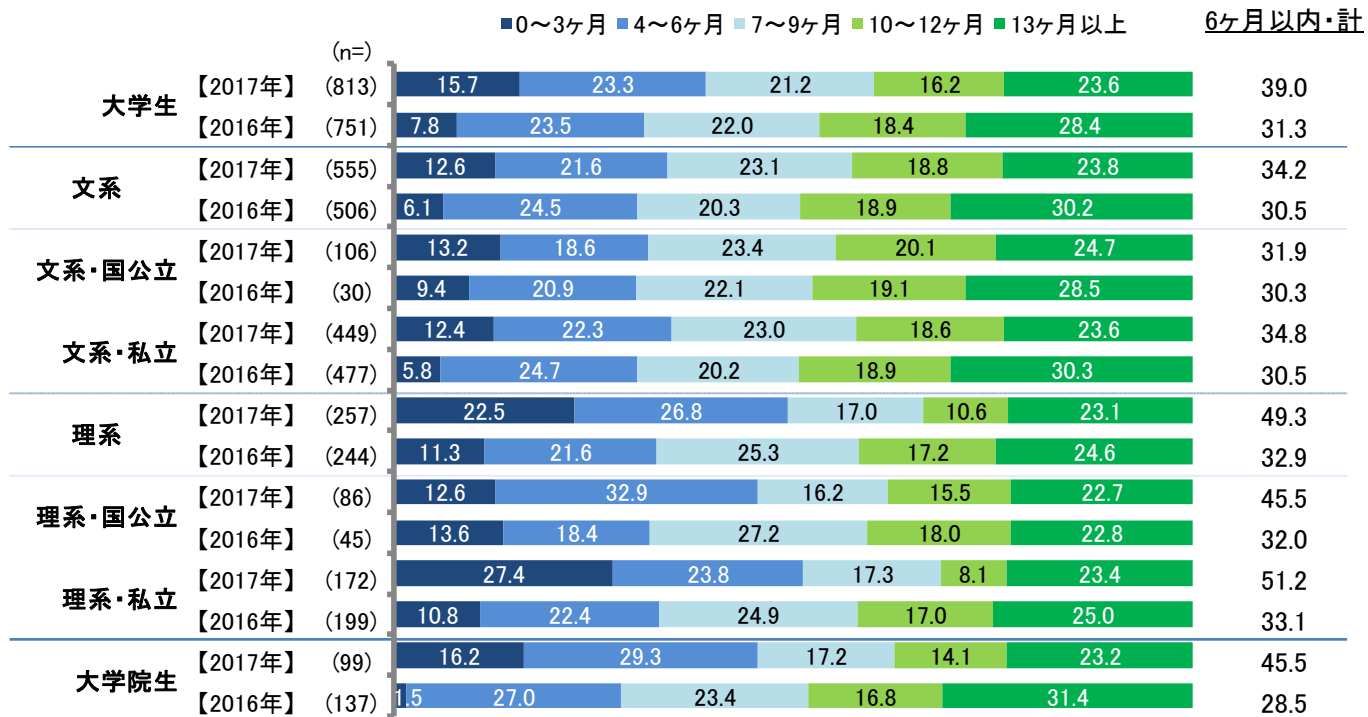
③就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学生は約4割、大学院生は4割半ばが半年以内となっており、2016年調査よりもその割合が増えている。特に、大学院生、理系大学生で、半年以内の割合が2016年調査から大きく増加している。(図表6)

プレエントリー、企業説明会の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間も、大学生・大学院生ともに、2016年調査から短くなっている。面接など対面選考の開始時期から就職活動の実施期間は、大学生で「3～4ヶ月」、大学院生で「0～2ヶ月」が最も多くなっている。(図表7)

図表6 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

\* 就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始月から就職活動の終了月。  
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。



※6ヶ月以内・計:「0～3ヶ月」+「4～6ヶ月」

図表7 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

\* 各就職活動の情報収集開始月から終了月。  
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。

		n	0～3ヶ月	4～6ヶ月	7～9ヶ月	10～12ヶ月	13ヶ月以上
エントリー	大学生	806	29.5 (14.6)	<b>32.2</b> (-8.6)	16.1 (-4.8)	10.1 (-0.8)	12.2 (-0.4)
	大学院生	99	<b>35.4</b> (18.1)	29.3 (-16.0)	13.1 (-3.4)	8.1 (0.2)	14.1 (1.2)
企業説明会	大学生	830	<b>31.7</b> (16.0)	29.9 (-11.0)	17.2 (-3.1)	10.0 (0.0)	11.2 (-1.8)
	大学院生	95	<b>42.1</b> (24.0)	27.4 (-20.5)	11.6 (-2.9)	5.3 (-1.3)	13.7 (0.6)
		n	0～2ヶ月	3～4ヶ月	5～6ヶ月	7～9ヶ月	10ヶ月以上
面接などの対面選考	大学生	811	25.4 (8.0)	<b>26.8</b> (4.1)	14.7 (-11.0)	15.3 (0.6)	17.7 (-1.8)
	大学院生	99	<b>34.3</b> (12.2)	23.2 (-6.1)	13.1 (-7.6)	9.1 (-0.9)	20.2 (2.3)

\* カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。 \* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

\* 2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。



④就職活動の各プロセスの活動量

**大学生のプレエントリー33.4社、企業説明会参加20.8社、書類選考15.0社、面接など対面選考10.3社。前年からプレエントリー社数が減少し、絞込みが進む。**

各活動の対象企業・団体数の平均値は、大学生ではプレエントリー33.4社、企業説明会20.8社、書類選考15.0社、面接など対面選考10.3社、最終面接3.3社、内定取得2.2社。属性別にみると、文系大学生でプレエントリー、企業説明会、面接など対面選考の社数が多い。

2016年調査と比較すると、大学生、中部・近畿・その他地域の大学生でプレエントリー社数が減少しているが、企業説明会は同水準となっており、プレエントリー社数を絞り込んでいる傾向がみられる。

プレエントリーした企業のうち、就職活動開始前から知っていた企業は、大学生・大学院生ともに10社半ばであるが、大学院生のほうが就職活動開始前から知っていた企業の社数が多い。(図表8)

図表8 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値(数値回答、単位=社) ※0社回答を除く

	プレエントリーした	プレエントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの対面選考を受けた	最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
大学生	33.4 (-5.8)	15.6 (-4.1)	20.8 (-0.1)	15.0 (0.7)	10.3 (0.3)	3.3 (-0.2)	2.2 (-0.1)
文系	<u>37.2</u> (-8.5)	<u>18.0</u> (-3.6)	<u>22.7</u> (-0.2)	<u>16.8</u> (0.3)	<u>11.5</u> (0.3)	<u>3.3</u> (-0.3)	<u>2.2</u> (-0.1)
国公立	34.6 (-7.1)	19.4 (-7.2)	20.4 (-2.4)	14.5 (-1.3)	11.4 (1.1)	3.4 (-0.3)	2.1 (-0.5)
私立	<u>37.8</u> (-8.1)	17.7 (-3.6)	<u>23.2</u> (0.3)	<u>17.3</u> (0.8)	<u>11.5</u> (0.2)	3.3 (-0.3)	2.2 (-0.1)
理系	25.1 (-0.7)	10.1 (-5.4)	16.9 (0.3)	11.4 (1.5)	7.8 (0.4)	3.1 (0.1)	2.1 (0.1)
国公立	22.1 (2.1)	9.1 (-7.1)	15.5 (-2.0)	9.3 (3.3)	6.5 (1.2)	2.5 (-0.3)	1.8 (-0.3)
私立	26.6 (-0.9)	10.5 (-4.8)	17.6 (1.1)	12.4 (1.4)	8.5 (0.4)	3.4 (0.4)	<u>2.3</u> (0.3)
関東	<u>41.0</u> (-0.6)	<u>18.4</u> (-2.4)	22.5 (0.8)	17.9 (2.1)	11.9 (1.4)	3.3 (-0.2)	2.2 (0.1)
中部	26.7 (-12.3)	12.2 (-5.1)	15.9 (-1.7)	11.1 (-0.8)	8.1 (-0.3)	3.0 (-0.3)	2.0 (-0.0)
近畿	34.7 (-7.1)	16.4 (-3.6)	<u>26.3</u> (2.1)	<u>18.0</u> (1.7)	<u>12.7</u> (1.3)	<u>3.7</u> (0.2)	<u>2.3</u> (-0.0)
その他	23.1 (-6.7)	12.0 (-6.5)	15.3 (-1.3)	9.7 (-0.4)	7.0 (-0.8)	3.0 (-0.5)	2.0 (-0.3)
大学院生	28.3 (0.4)	17.0 (1.5)	17.5 (2.0)	15.1 (2.6)	9.1 (1.5)	2.8 (0.1)	1.8 (-0.2)

\* カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。

\* 各活動の文理別/文理×専攻別/地域別で、最も対象企業・団体数の平均値が多いスコアに下線を引いた。

\* 2016年とのスコア差が5ポイント以上高いセルを薄い橙色、5ポイント以上低いセルを薄い青色で網掛けした。

## ④就職活動の各プロセスの活動量

※回答者数(単位=人)

	プレエントリー した	プレエントリー したうち、就職 活動開始前か ら知っていた	企業説明会に 参加した	書類選考を 受けた	面接などの 対面選考を 受けた	最終面接を 受けた	内定(内々定) を取得した
大学生	831	781	852	839	833	797	785
文系	569	545	574	571	565	548	547
国公立	112	110	108	112	110	103	101
私立	456	435	466	460	455	446	446
理系	262	236	278	268	268	248	238
国公立	85	75	90	87	89	84	78
私立	178	161	188	180	179	164	160
関東	326	307	328	323	315	297	297
中部	101	93	105	104	106	104	102
近畿	202	193	205	202	195	187	187
その他	201	188	214	209	217	209	200
大学院生	106	99	102	108	105	99	102

④就職活動の各プロセスの活動量

就職活動の各プロセスの対象企業・団体数の分布を属性別にみると、文系大学生、理系大学生ともに、プレエントリー、企業説明会は「20～49社」の割合が最も高いが、面接などの対面選考になると、文系大学生は「10～19社」、理系大学生は「1～4社」が最も高く、社数に開きがみられる。(図表9)

図表9 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の分布(数値回答、単位=社)

	n=	20社未満				20～49社	50～99社	100社以上	
		0社	1～4社	5～9社	10～19社				
(資料・採用情報の請求)	大学生	883	5.8 (1.1)	13.7 (0.5)	8.1 (-1.0)	16.5 (4.7)	<b>29.7</b> (1.6)	19.3 (-3.8)	6.8 (-3.1)
	文系	593	4.1 (0.1)	10.7 (-0.2)	7.4 (1.8)	16.4 (4.4)	<b>31.9</b> (4.8)	21.1 (-6.3)	8.4 (-4.6)
	国公立	119	5.4 (1.5)	10.8 (2.4)	5.9 (-6.9)	18.4 (13.2)	<b>34.6</b> (7.8)	19.0 (-10.3)	5.9 (-7.7)
	私立	474	3.8 (-0.2)	10.6 (-0.4)	7.8 (2.7)	15.9 (3.5)	<b>31.2</b> (4.1)	21.7 (-5.7)	9.0 (-3.9)
	理系	289	9.4 (3.1)	20.0 (2.2)	9.5 (-6.7)	16.8 (5.2)	<b>25.2</b> (-5.0)	15.6 (1.2)	3.5 (-0.0)
	国公立	93	9.3 (9.3)	<b>23.6</b> (-6.0)	14.6 (-3.5)	18.8 (0.2)	14.7 (-11.3)	<b>17.2</b> (17.2)	1.7 (-5.8)
	私立	196	9.4 (1.6)	18.3 (3.5)	7.1 (-8.6)	15.8 (6.0)	<b>30.2</b> (-1.1)	14.8 (-3.3)	4.4 (1.8)
大学院生	111	4.5 (-0.9)	12.6 (-4.3)	7.2 (-0.2)	20.7 (0.5)	<b>34.2</b> (4.5)	14.4 (-1.1)	6.3 (1.6)	
企業説明会に参加した	大学生	879	3.2 (-0.1)	15.0 (-0.4)	16.0 (1.7)	20.8 (0.8)	<b>34.2</b> (-1.3)	9.6 (-0.9)	1.2 (0.2)
	文系	589	2.6 (0.2)	12.0 (-0.6)	13.7 (1.2)	21.6 (2.0)	<b>36.8</b> (-2.4)	12.3 (0.1)	1.0 (-0.5)
	国公立	117	7.2 (4.6)	14.3 (-3.7)	8.7 (6.1)	23.0 (5.0)	<b>38.5</b> (-9.3)	8.3 (-2.6)	- (-)
	私立	473	1.5 (-0.9)	11.4 (-0.8)	14.9 (1.8)	21.3 (1.5)	<b>36.4</b> (-2.3)	13.3 (1.0)	1.2 (-0.4)
	理系	290	4.3 (-0.7)	21.1 (-0.0)	20.7 (2.8)	19.3 (-1.6)	<b>29.0</b> (1.0)	4.0 (-3.0)	1.5 (1.5)
	国公立	93	4.1 (-7.0)	<b>28.8</b> (2.7)	20.3 (5.6)	17.7 (2.7)	25.0 (2.9)	2.2 (-8.8)	1.9 (1.9)
	私立	197	4.4 (1.0)	17.5 (-2.4)	21.0 (2.2)	20.0 (-2.4)	<b>30.9</b> (1.4)	4.8 (-1.1)	1.4 (1.4)
大学院生	110	7.3 (1.2)	15.5 (-4.8)	15.5 (1.9)	25.5 (-5.0)	<b>30.9</b> (7.3)	4.5 (-1.5)	0.9 (0.9)	

\* カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。 \* 属性ごとに最も多い区分を**赤太字**にした。

\* 2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

④就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き		n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
			0社	1~4社	5~9社	10~19社			
書類選考を受けた	大学生	882	4.9 (0.7)	21.5 (-0.5)	17.9 (-0.9)	25.4 (0.4)	<b>25.9</b> (-1.1)	3.7 (0.7)	0.7 (0.7)
	文系	592	3.5 (0.4)	17.7 (-0.1)	17.3 (1.2)	27.4 (1.0)	<b>28.1</b> (-4.3)	5.0 (0.7)	1.1 (1.1)
	国公立	117	4.4 (0.2)	21.9 (8.4)	12.5 (1.5)	27.5 (-8.0)	<b>30.9</b> (-4.9)	2.7 (2.7)	- (-)
	私立	475	3.3 (0.2)	16.6 (-1.5)	18.5 (2.0)	27.3 (1.6)	<b>27.4</b> (-4.7)	5.5 (1.0)	1.3 (1.3)
	理系	290	7.7 (1.3)	<b>29.4</b> (-1.1)	19.3 (-5.2)	21.3 (-0.8)	21.4 (5.2)	1.0 (0.6)	- (-)
	国公立	93	6.5 (3.0)	<b>37.9</b> (0.7)	25.4 (-15.3)	12.9 (5.4)	16.2 (5.1)	1.1 (1.1)	- (-)
	私立	197	8.3 (1.2)	<b>25.4</b> (-3.5)	16.3 (-4.0)	25.3 (-0.5)	23.8 (6.4)	0.9 (0.5)	- (-)
	大学院生	111	2.7 (0.7)	26.1 (-6.3)	14.4 (-2.5)	<b>27.9</b> (4.3)	19.8 (-1.8)	9.0 (6.3)	- (-0.7)
面接などの 対面選考を受けた	大学生	883	5.6 (1.4)	<b>29.5</b> (-2.3)	22.2 (1.5)	26.7 (-0.4)	14.1 (-1.4)	1.5 (1.0)	0.2 (0.2)
	文系	593	4.7 (1.2)	24.9 (-1.5)	23.9 (3.5)	<b>27.9</b> (-1.9)	16.2 (-3.0)	2.2 (1.3)	0.3 (0.3)
	国公立	119	7.1 (7.1)	27.0 (3.7)	21.5 (-4.6)	<b>29.9</b> (-5.9)	11.9 (-3.0)	1.1 (1.1)	1.6 (1.6)
	私立	474	4.1 (0.3)	24.3 (-2.2)	24.4 (4.5)	<b>27.4</b> (-2.0)	17.2 (-2.2)	2.5 (1.6)	- (-)
	理系	290	7.6 (1.8)	<b>39.0</b> (-3.8)	18.8 (-2.6)	24.4 (2.6)	10.0 (1.7)	0.2 (0.2)	- (-)
	国公立	93	4.3 (4.3)	<b>46.6</b> (-12.6)	24.9 (17.8)	17.7 (-15.9)	6.0 (6.0)	0.6 (0.6)	- (-)
	私立	197	9.2 (1.9)	<b>35.4</b> (-3.2)	15.9 (-9.1)	27.6 (8.8)	11.9 (1.5)	- (-)	- (-)
	大学院生	111	5.4 (0.7)	<b>39.6</b> (1.1)	18.9 (-9.5)	20.7 (1.1)	15.3 (7.2)	- (-0.7)	- (-)

\* カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。 \* 属性ごとに最も多い区分を**赤太字**にした。

\* 2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

④就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き

n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上		
	0社	1~4社	5~9社	10~19社					
最終面接を受けた	大学生	881	9.6 (-0.1)	<b>70.0</b> (1.4)	15.9 (0.4)	4.3 (-1.7)	0.2 (-0.0)	- (-)	- (-)
	文系	591	7.2 (-0.0)	<b>70.4</b> (3.7)	17.6 (-0.9)	4.6 (-2.7)	0.2 (-0.1)	- (-)	- (-)
	国公立	117	12.7 (8.8)	<b>63.2</b> (-11.3)	19.2 (7.2)	4.9 (-4.7)	- (-)	- (-)	- (-)
	私立	473	5.8 (-1.6)	<b>72.2</b> (6.0)	17.1 (-1.7)	4.5 (-2.7)	0.3 (-0.0)	- (-)	- (-)
	理系	290	14.4 (-0.2)	<b>69.3</b> (-3.1)	12.6 (2.9)	3.7 (0.4)	- (-)	- (-)	- (-)
	国公立	93	9.6 (-5.5)	<b>75.7</b> (-2.1)	13.6 (10.0)	1.1 (-2.4)	- (-)	- (-)	- (-)
	私立	197	16.8 (2.2)	<b>66.2</b> (-4.8)	12.1 (0.9)	4.9 (1.7)	- (-)	- (-)	- (-)
	大学院生	111	10.8 (0.7)	<b>74.8</b> (-0.2)	9.0 (-3.2)	4.5 (1.8)	0.9 (0.9)	- (-)	- (-)

n=	0社	1社	2社	3社	4社	5社以上		
内定（内々定）を取得した	大学生	884	10.5 (-2.1)	<b>37.6</b> (1.8)	23.1 (1.7)	14.9 (-2.4)	8.1 (0.9)	5.9 (0.1)
	文系	594	7.0 (-2.6)	<b>37.4</b> (3.6)	25.2 (0.9)	16.6 (-0.5)	7.8 (-0.3)	6.0 (-1.0)
	国公立	119	13.0 (3.3)	<b>34.1</b> (9.5)	26.0 (1.8)	13.4 (-4.9)	7.0 (-9.5)	6.5 (-0.2)
	私立	475	5.5 (-4.1)	<b>38.3</b> (3.8)	25.0 (0.7)	17.3 (0.3)	8.0 (0.4)	5.9 (-1.1)
	理系	290	17.8 (-0.7)	<b>37.9</b> (-1.8)	18.8 (3.1)	11.4 (-6.2)	8.7 (3.5)	5.5 (2.2)
	国公立	93	16.4 (-6.1)	<b>45.8</b> (20.1)	14.7 (-3.8)	14.7 (-14.9)	7.8 (4.2)	0.6 (0.6)
	私立	197	18.5 (0.9)	<b>34.1</b> (-9.1)	20.7 (5.7)	9.8 (-4.7)	9.1 (3.5)	7.8 (3.7)
	大学院生	111	8.1 (-4.7)	<b>52.3</b> (13.7)	22.5 (-5.9)	9.0 (-1.1)	5.4 (-0.7)	2.7 (-1.4)

\* カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。 \* 属性ごとに最も多い区分を**赤太字**にした。

\* 2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤知りたかった情報、知ることができた情報

**大学生が、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ時に知りたかった情報の上位項目は「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」で、7割台が知ることができたと回答。**

大学生が知りたかった情報は、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ時は、「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」が上位。これらの情報を知ることができたタイミングは、大学生の7割台が、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ段階までと回答している。

大学院生は、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ時に、「経営理念・ビジョン」を知りたい傾向が強く、この情報を知ることができたタイミングは、大学院生の8割後半が[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ段階までと回答している。

(図表10、11)

図表10 就職活動の段階別に知りたかった情報(複数回答、単位=%)

	プレエントリーをする際				一次選考に応募する際				就職先を選ぶ際			
	大学生		大学院生		大学生		大学院生		大学生		大学院生	
	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで	すべて	特に3つまで
(n=)	(884)	(884)	(111)	(111)	(884)	(884)	(111)	(111)	(884)	(884)	(111)	(111)
経営理念・ビジョン	43.6	20.7	<b>56.8</b>	<b>22.5</b>	36.4	18.8	<b>48.6</b>	17.1	32.0	16.4	38.7	15.3
社会貢献活動や環境問題への取り組み状況	17.0	7.0	24.3	3.6	15.3	6.0	22.5	7.2	12.7	4.9	18.0	2.7
事業の安定性・将来性	<b>48.0</b>	<b>23.0</b>	47.7	15.3	<b>41.3</b>	<b>19.2</b>	<b>43.2</b>	13.5	<b>43.0</b>	<b>22.2</b>	41.4	18.0
事業内容や商品・サービスの特性	42.3	11.7	50.5	12.6	30.9	11.0	41.4	13.5	27.7	9.4	33.3	8.1
具体的な仕事内容	<b>55.5</b>	<b>29.8</b>	<b>67.6</b>	<b>38.7</b>	<b>48.1</b>	<b>26.7</b>	<b>57.7</b>	<b>31.5</b>	<b>44.5</b>	<b>24.7</b>	<b>55.9</b>	<b>32.4</b>
若手社員の仕事の様子	33.1	8.1	32.4	3.6	28.5	8.0	35.1	7.2	30.0	8.7	29.7	7.2
組織風土	31.5	7.7	40.5	8.1	31.8	9.5	39.6	9.9	29.6	9.4	38.7	12.6
従業員構成の男女比・内訳	19.5	1.8	18.9	1.8	14.5	2.0	18.0	2.7	14.7	1.7	13.5	1.8
従業員構成の年齢別の内訳	17.3	1.8	16.2	-	12.7	1.8	10.8	0.9	14.3	1.4	9.9	-
職場の人間関係・雰囲気	36.0	13.1	42.3	12.6	36.6	16.9	<b>43.2</b>	<b>19.8</b>	39.6	22.0	42.3	<b>19.8</b>
勤務地	<b>51.7</b>	<b>23.5</b>	<b>59.5</b>	<b>28.8</b>	<b>44.8</b>	<b>21.5</b>	42.3	<b>20.7</b>	<b>46.4</b>	<b>24.5</b>	<b>47.7</b>	<b>24.3</b>
採用時の具体的給与・賞与額	42.4	15.8	50.5	15.3	37.2	14.9	37.8	14.4	40.5	17.7	<b>44.1</b>	15.3
将来の給与の見通し	27.3	3.8	35.1	2.7	25.2	4.8	27.0	3.6	30.5	8.6	33.3	9.9
諸手当の支給状況	25.3	3.3	34.2	3.6	22.8	3.6	27.0	5.4	26.9	5.0	31.5	3.6
忙しさの度合い	33.6	9.7	37.8	7.2	31.9	8.7	27.9	9.0	35.4	11.1	34.2	9.9
有給休暇日数と取得状況	28.5	3.7	30.6	4.5	27.0	4.9	24.3	3.6	29.8	8.0	27.9	4.5
人事評価制度と運用状況	13.2	0.7	17.1	1.8	11.8	0.8	16.2	0.9	14.3	1.0	21.6	3.6
教育研修制度と運用状況	17.8	1.5	27.9	3.6	17.6	2.0	20.7	2.7	21.3	3.3	24.3	2.7
出産・育児・介護との両立を支援する制度と利用状況	13.4	1.0	18.0	1.8	13.6	1.7	15.3	0.9	16.5	2.8	17.1	7.2
新卒者の定着状況	23.4	3.3	27.9	2.7	22.1	3.7	16.2	1.8	22.1	3.1	17.1	3.6
新卒者の採用人数	28.4	3.1	35.1	6.3	22.0	2.2	26.1	1.8	16.5	1.3	13.5	0.9
採用選考の応募資格(学校種別、専攻分野)	19.5	2.2	29.7	3.6	12.9	1.6	14.4	1.8	8.4	0.8	9.9	-
採用実績校	16.7	1.7	19.8	2.7	10.4	0.8	11.7	-	7.3	1.0	5.4	-
求める人物像・採用選考の基準	28.7	5.2	43.2	9.0	25.9	7.9	36.9	11.7	14.8	3.0	22.5	5.4
選考中に提出が必要な書類	29.5	4.6	39.6	9.0	23.9	4.6	27.9	9.9	12.0	1.3	11.7	3.6
内定までの選考プロセス	38.1	13.1	45.0	9.9	32.2	12.4	38.7	10.8	17.9	6.2	18.0	6.3
その他	0.6	0.4	0.9	0.9	0.6	0.4	0.9	0.9	0.7	0.5	0.9	0.9

\* 属性ごとに選択率が上位の3項目を■で網掛け太字にした。

⑤ 知りたかった情報、知ることができた情報

図表11 知ることができた情報とそのタイミング(単一回答、単位=%)

	大学生 (n=884)				大学院生 (n=111)			
	知ることができた			知ることができなかった	知ることができた			知ることができなかった
	プレエントリー対象を選ぶときまで	一次選考応募対象を選ぶときまで	最終的な就職先を選ぶときまで		プレエントリー対象を選ぶときまで	一次選考応募対象を選ぶときまで	最終的な就職先を選ぶときまで	
経営理念・ビジョン	58.0	27.4	8.4	6.2	59.5	27.9	8.1	4.5
社会貢献活動や環境問題への取り組み状況	43.0	30.5	11.3	15.2	42.3	31.5	9.9	16.2
事業の安定性・将来性	33.4	36.1	16.1	14.4	27.0	40.5	15.3	17.1
事業内容や商品・サービスの特性	43.0	36.4	12.4	8.1	43.2	38.7	11.7	6.3
具体的な仕事内容	37.7	40.3	14.3	7.7	29.7	48.6	18.0	3.6
若手社員の仕事の様子	25.2	35.9	21.2	17.8	22.5	43.2	17.1	17.1
組織風土	25.1	37.3	19.7	18.0	22.5	39.6	18.9	18.9
従業員構成の男女比・内訳	35.2	35.0	13.8	15.9	27.9	40.5	10.8	20.7
従業員構成の年齢別の内訳	32.2	35.1	12.2	20.5	29.7	31.5	10.8	27.9
職場の人間関係・雰囲気	22.8	34.7	24.3	18.2	12.6	41.4	25.2	20.7
勤務地	37.4	34.1	19.5	9.0	37.8	36.0	15.3	10.8
採用時の具体的給与・賞与額	33.7	35.5	19.2	11.7	37.8	31.5	15.3	15.3
将来の給与の見通し	22.7	29.0	17.3	31.0	17.1	27.9	11.7	43.2
諸手当の支給状況	25.6	34.4	22.7	17.3	20.7	27.0	27.0	25.2
忙しさの度合い	18.6	32.3	21.2	27.9	16.2	32.4	17.1	34.2
有給休暇日数と取得状況	21.6	30.0	18.5	29.9	23.4	27.9	16.2	32.4
人事評価制度と運用状況	18.0	30.5	17.0	34.5	13.5	27.9	11.7	46.8
教育研修制度と運用状況	24.7	33.7	20.0	21.6	18.0	30.6	22.5	28.8
出産・育児・介護との両立を支援する制度と利用状況	25.4	32.0	18.2	24.4	19.8	32.4	18.9	28.8
新卒者の定着状況	24.7	27.1	16.1	32.1	13.5	28.8	12.6	45.0
新卒者の採用人数	36.6	32.1	16.5	14.8	34.2	27.9	12.6	25.2
採用選考の応募資格(学校種別、専攻分野)	46.4	29.9	11.0	12.7	46.8	27.0	10.8	15.3
採用実績校	46.9	22.9	10.0	20.1	41.4	21.6	9.0	27.9
求める人物像・採用選考の基準	43.1	34.1	12.1	10.7	45.9	29.7	9.0	15.3
選考中に提出が必要な書類	47.5	34.0	12.0	6.5	42.3	35.1	16.2	6.3
内定までの選考プロセス	42.8	36.3	12.5	8.4	43.2	36.0	10.8	9.9
その他	5.1	5.3	4.7	30.1	6.3	6.3	1.8	37.8

\* 1情報ごとに最も多いタイミングを太字にした。

\* 2:属性ごとに、「図表10 就職活動の段階別に関心があった(特に)」の上位3情報の選択率が高いもの3つに■で網掛けした。

⑥就職活動終了時期別の活動状況

**大学4年/大学院2年の9月までに就職活動を終了した者は全体の7割で、前年から終了時期が早期化。就職活動が早く終了する者、長期化する者に二極化している。**

大学生を就職活動の終了時期別に4区分すると、大学4年4月までの終了者、3月時点での活動継続者は、就職活動の開始時期が早いものの、就職活動が早く終了する者、長期化する者に二極化している。大学4年5～9月までの終了者の実施期間は「4～6カ月」「7～9カ月」がボリュームゾーンであるが、それよりも終了時期が遅い者や、活動継続者は「13カ月以上」の実施期間が最も多くなっている。

2016年調査と比較すると、大学4年9月までの終了者の割合が2017年調査は約7割と、2016年の6割強から増加しており、就職活動の終了時期が早くなっている。(図表12、13)

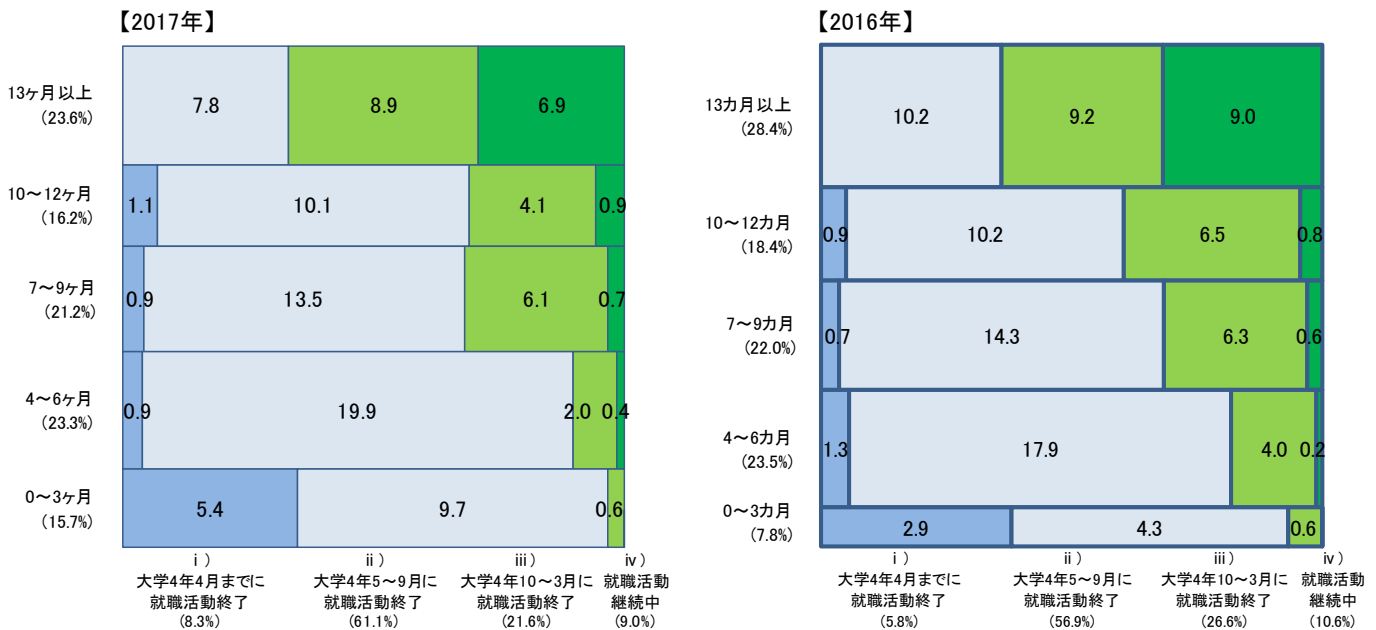
図表12 【就職活動終了時期別】大学生の就職活動の開始時期(単一回答、単位=%)

情報収集の進め方やノウハウに関する	n=	大学3年/大学院1年					大学4年/大学院2年			
		5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降
大学4年4月までに就職活動終了	79	19.8 (-9.1)	<b>43.0</b> (9.2)	8.8 (2.2)	- (-11.4)	16.1 (10.7)	8.9 (-2.9)	3.4 (1.5)	- (-)	- (-)
大学4年5～9月に就職活動終了	500	9.7 (-1.8)	17.5 (-1.6)	16.5 (-0.0)	11.3 (0.8)	<b>18.1</b> (-0.3)	17.4 (1.0)	7.4 (1.0)	1.3 (0.5)	0.9 (0.4)
大学4年10～3月に就職活動終了	176	14.3 (0.8)	15.1 (1.1)	<b>15.3</b> (6.9)	6.3 (2.4)	15.1 (-3.1)	11.1 (-7.4)	13.4 (0.7)	6.6 (1.9)	2.7 (-3.3)
就職活動継続中	73	<b>28.5</b> (10.3)	13.3 (-1.0)	5.9 (-7.9)	4.1 (-5.2)	13.0 (3.6)	12.2 (-7.3)	10.6 (5.7)	8.1 (5.8)	4.3 (-4.0)

\* カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。 \* 属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。  
\* 2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

図表13 【就職活動終了時期別】大学生の就職活動の実施期間(単位=%)

\*(就職活動終了月)-(就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始月)





⑥就職活動終了時期別の活動状況

各活動の対象企業・団体数の平均値は、大学4年4月までの終了者は、プレエントリーでは「10～19社」が最も高い。一方、3月時点の活動継続者は、プレエントリー社数は40.8社と多いものの、企業説明会に参加した社数は16.1社とやや少ない。大学4年10～3月までの終了者の半数前後が、2社以上から内定を取得している一方で、3月下旬時点での活動継続者は70.6%が内定を1社からも取得していない。

(図表14、15)

就職活動の段階別に最も役立つ情報源は、大学4年4月までの終了者は、プレエントリー対象、一次選考応募対象、最終的な就職先を選ぶときに、「政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が高い。一方、3月時点での活動継続者は「利用していない/役に立ったものはない」の割合が高く、活用状況に違いがみられる。

なお、最終的な就職先の認知経路は、いずれの時期も「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」が最も高い。(図表16)

図表14 【就職活動終了時期別】大学生の就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値(数値回答、単位=社)

	プレエントリーした(資料・採用情報の請求)	プレエントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの対面選考を受けた	最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
大学4年4月までに就職活動終了	29.2 (-1.4)	16.3 (-4.7)	<u>23.0</u> (1.2)	11.7 (1.7)	8.9 (1.5)	<u>3.7</u> (0.9)	2.2 (-0.2)
大学4年5～9月に就職活動終了	34.2 (-6.9)	<u>16.9</u> (-3.2)	21.4 (-0.4)	<u>16.0</u> (0.8)	10.7 (-0.1)	3.4 (-0.0)	<u>2.3</u> (0.0)
大学4年10～3月に就職活動終了	29.6 (-14.4)	11.2 (-9.0)	19.7 (-0.2)	14.5 (-0.4)	9.7 (-0.6)	3.0 (-0.8)	1.8 (-0.3)
就職活動継続中	<u>40.8</u> (17.4)	15.6 (0.8)	16.1 (-0.7)	13.1 (1.6)	<u>10.8</u> (4.1)	2.4 (-0.9)	1.4 (-0.0)

\* カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。

\* 各活動で、最も対象企業・団体数の平均値が多い属性のセルに下線を引いた。

\* 2016年とのスコア差が5ポイント以上高いセルを薄い橙色、5ポイント以上低いセルを薄い青色で網掛けした。

※回答者数(単位=人)

大学4年4月までに就職活動終了	82	79	81	80	76	70	66
大学4年5～9月に就職活動終了	519	492	531	522	514	504	521
大学4年10～3月に就職活動終了	159	150	172	175	182	181	176
就職活動継続中	71	60	67	63	61	41	21

⑥就職活動終了時期別の活動状況

図表15 【就職活動終了時期別】大学生の就職活動の対象企業・団体数の分布(数値回答、単位=%)

	n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上	
		0社	1~4社	5~9社	10~19社				
（資料・採用情報） プレエントリーした	大学4年4月までに就職活動終了	82	0.6 (-2.6)	17.0 (-6.1)	9.5 (-4.1)	<b>24.3</b> (15.0)	22.8 (1.7)	18.7 (0.6)	7.0 (-4.5)
	大学4年5~9月に就職活動終了	540	3.8 (1.0)	11.5 (2.2)	8.2 (-0.7)	16.1 (3.5)	<b>31.9</b> (3.3)	21.7 (-5.5)	6.8 (-3.8)
	大学4年10~3月に就職活動終了	188	15.2 (7.4)	18.6 (7.0)	5.6 (-2.5)	15.8 (5.9)	<b>26.3</b> (-7.1)	13.4 (-5.7)	5.1 (-5.0)
	就職活動継続中	73	2.6 (-5.6)	14.1 (-15.8)	12.5 (3.2)	12.6 (-2.1)	<b>30.2</b> (12.2)	17.2 (1.3)	10.8 (6.7)
企業説明会に参加した	大学4年4月までに就職活動終了	82	1.6 (0.2)	19.2 (-7.2)	16.9 (1.2)	19.2 (9.0)	<b>23.6</b> (-1.4)	17.5 (-4.0)	2.1 (2.1)
	大学4年5~9月に就職活動終了	541	1.7 (-0.1)	11.9 (-2.0)	16.5 (3.1)	21.8 (0.9)	<b>37.8</b> (-0.2)	8.8 (-1.7)	1.5 (0.0)
	大学4年10~3月に就職活動終了	186	7.4 (2.2)	18.7 (6.0)	12.9 (-1.8)	21.4 (-0.9)	<b>28.7</b> (-5.9)	10.6 (0.9)	0.3 (-0.4)
	就職活動継続中	71	5.2 (-2.0)	24.5 (2.2)	19.4 (2.8)	13.9 (-3.5)	<b>33.6</b> (0.9)	3.5 (-0.3)	- (-)
書類選考を受けた	大学4年4月までに就職活動終了	82	3.2 (0.7)	<b>32.5</b> (1.6)	21.0 (-6.7)	19.0 (-2.5)	20.2 (3.6)	4.0 (3.3)	- (-)
	大学4年5~9月に就職活動終了	541	3.5 (2.0)	16.5 (-5.2)	18.5 (-0.1)	28.3 (3.7)	<b>28.6</b> (-1.9)	3.9 (0.7)	0.7 (0.7)
	大学4年10~3月に就職活動終了	188	7.1 (3.8)	<b>28.4</b> (9.6)	18.3 (1.7)	21.6 (-8.4)	19.0 (-9.3)	4.2 (1.1)	1.4 (1.4)
	就職活動継続中	71	11.7 (-10.3)	28.5 (3.4)	9.0 (-10.5)	20.5 (3.6)	<b>30.2</b> (16.8)	- (-3.0)	- (-)
面接などの対面選考を受けた	大学4年4月までに就職活動終了	82	7.6 (6.9)	<b>34.6</b> (-9.9)	23.8 (2.6)	23.0 (0.4)	8.6 (-2.6)	2.5 (2.5)	- (-)
	大学4年5~9月に就職活動終了	541	5.0 (3.3)	25.0 (-2.5)	23.5 (-1.1)	<b>29.6</b> (1.8)	15.3 (-2.7)	1.7 (1.1)	- (-)
	大学4年10~3月に就職活動終了	187	2.4 (-2.2)	<b>38.8</b> (9.6)	22.3 (3.6)	19.2 (-11.6)	15.9 (-0.2)	1.4 (0.8)	- (-)
	就職活動継続中	73	16.8 (-3.1)	<b>33.7</b> (-17.7)	10.7 (5.4)	29.1 (11.3)	7.1 (2.7)	- (-1.1)	2.6 (2.6)

\*カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。 \*属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。

\*2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑥就職活動終了時期別の活動状況

※前ページより続き

			20社未満				20～49社	50～99社	100社以上
			0社	1～4社	5～9社	10～19社			
最終面接を受けた	大学4年4月までに就職活動終了	n=79	11.3 (10.6)	<b>65.1</b> (-16.1)	11.4 (-5.0)	11.2 (9.6)	0.9 (0.9)	- (-)	- (-)
	大学4年5～9月に就職活動終了	n=541	6.8 (1.3)	<b>70.8</b> (-1.7)	18.5 (2.7)	3.8 (-2.4)	0.1 (0.1)	- (-)	- (-)
	大学4年10～3月に就職活動終了	n=188	3.8 (-2.7)	<b>77.9</b> (9.8)	14.1 (-3.8)	4.2 (-2.6)	- (-0.7)	- (-)	- (-)
	就職活動継続中	n=73	43.3 (-2.7)	<b>49.7</b> (9.2)	6.3 (-1.3)	0.7 (-5.1)	- (-)	- (-)	- (-)

			0社	1社	2社	3社	4社	5社以上
内定（内々定）を取得した	大学4年4月までに就職活動終了	n=82	15.9 (9.6)	<b>31.4</b> (0.5)	20.0 (-1.2)	18.0 (-9.9)	9.9 (-2.9)	4.7 (3.8)
	大学4年5～9月に就職活動終了	n=541	3.4 (-1.5)	<b>36.4</b> (-1.0)	26.7 (3.6)	15.9 (-3.0)	10.0 (1.6)	7.7 (0.4)
	大学4年10～3月に就職活動終了	n=188	5.6 (-0.3)	<b>49.5</b> (9.5)	22.1 (-4.1)	14.9 (-2.1)	4.8 (0.3)	3.2 (-3.3)
	就職活動継続中	n=73	<b>70.6</b> (-3.7)	22.4 (1.8)	2.6 (1.4)	3.7 (2.5)	- (-2.8)	0.7 (0.7)

\*カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。 \*属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。

\*2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑥就職活動終了時期別の活動状況

図表16 【就職活動終了時期別】大学生の就職活動段階別に最も役立つ情報源と最終的な就職先の認知経路(単位=%)  
 ※最も役立つ情報源は単一回答 ※就職先の認知経路は複数回答。

		n=	政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	政府や自治体など行政による紹介※新卒応援ハローワークなど	民間の就職情報会社や情報誌、各種イベント	民間の就職情報会社による紹介※エージェントサービス・新卒紹介サービスなど	個別企業・団体の商品・サービス	個別企業・団体のインターンシップ	個別企業・団体の採用ホームページ・パンフレットなどの広報物や社員	大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	大学/大学院のキャリアセンター・就職部による紹介	大学/大学院の教員による紹介※推薦など	家族や知人による紹介	マスコミ※テレビ、新聞、雑誌、ラジオなど	その他のインターネット※各種就職情報サイトは含まない	その他	利用していない/役に立ったものはない
ときに最も役立った情報源を選ぶ	大学4年4月までに就職活動終了	82	25.0	5.3	29.0	3.8	-	3.0	1.7	8.2	1.6	2.9	-	-	4.4	-	15.2
	大学4年5~9月に就職活動終了	541	7.7	2.4	40.8	5.8	0.7	3.3	9.4	6.3	6.7	0.8	1.2	0.1	1.7	0.1	12.8
	大学4年10~3月に就職活動終了	188	12.2	4.7	27.1	8.1	0.7	2.8	4.7	4.9	6.8	5.0	2.0	-	4.5	-	16.5
	就職活動継続中	73	7.0	5.1	39.2	4.6	2.4	0.9	6.3	3.2	4.7	-	0.7	-	-	-	25.9
最も役立つ情報源を選ぶときに	大学4年4月までに就職活動終了	82	22.1	7.8	22.0	2.3	-	3.0	3.0	9.7	2.2	0.6	-	2.3	6.7	-	18.2
	大学4年5~9月に就職活動終了	541	6.2	2.2	33.5	6.1	0.9	4.7	13.8	5.2	6.6	1.5	1.2	0.1	2.7	0.2	15.1
	大学4年10~3月に就職活動終了	188	10.9	4.3	24.6	8.8	2.0	1.8	8.0	4.9	7.2	4.3	2.8	-	4.6	-	15.8
	就職活動継続中	73	4.2	6.9	32.7	1.7	2.4	1.6	9.1	4.3	5.7	1.0	-	-	-	-	30.5
最終的な就職先を選ぶときに	大学4年4月までに就職活動終了	82	21.4	3.9	17.2	1.7	-	2.2	3.3	7.4	4.8	1.3	1.5	2.3	4.4	-	28.9
	大学4年5~9月に就職活動終了	541	5.4	2.0	26.4	5.5	1.9	4.2	15.0	5.0	6.4	1.5	2.4	0.4	3.7	0.4	19.9
	大学4年10~3月に就職活動終了	188	9.1	4.0	18.2	8.4	1.4	5.5	8.8	3.6	8.3	6.8	3.4	-	4.5	-	18.1
	就職活動継続中	73	5.2	5.1	30.0	0.9	2.4	1.6	3.7	3.2	5.7	1.0	3.7	-	1.8	-	35.8
最終的な就職先の認知経路	大学4年4月までに就職活動終了	68	15.3	7.3	47.3	20.1	11.0	13.1	20.3	33.0	12.8	9.4	10.6	2.0	4.1	-	-
	大学4年5~9月に就職活動終了	515	9.7	2.8	42.5	12.3	7.9	4.8	12.2	21.8	14.9	4.2	10.3	3.8	1.9	3.6	4.9
	大学4年10~3月に就職活動終了	173	10.0	7.9	31.5	14.6	2.2	5.6	13.1	17.8	20.8	9.7	8.1	1.9	3.8	2.0	3.9
	就職活動継続中	15	20.6	24.4	43.7	25.8	-	14.6	-	20.8	17.4	3.4	-	4.1	4.8	-	-

\* 属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。

\* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

(回答者数が30未満のスコアを除く)

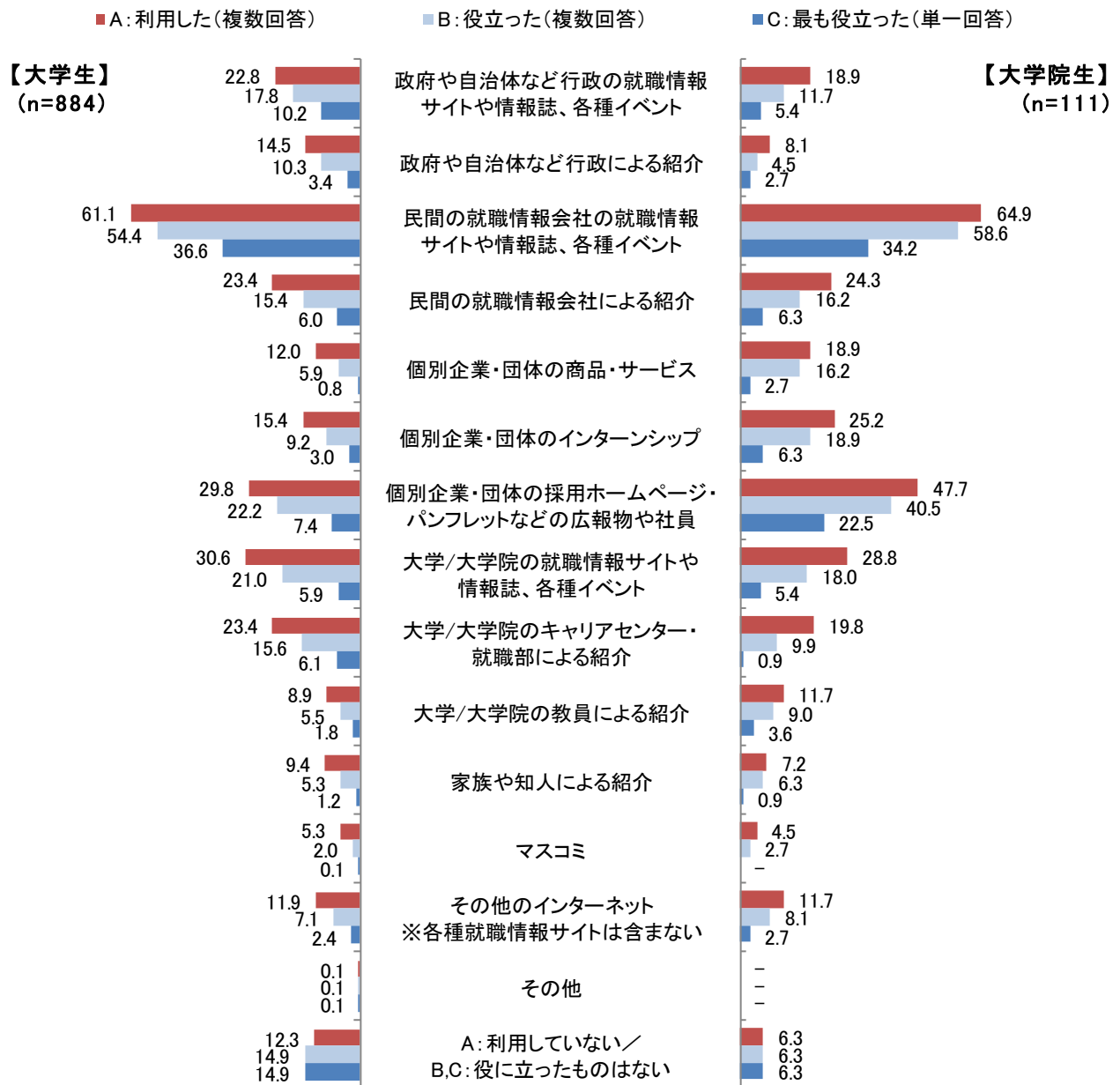
⑦就職予定先に関する情報源

**[プレントリー][一次選考応募][最終的な就職先]を選ぶときの情報源は、いずれも民間の就職情報会社がトップで、個別企業の採用広報物や社員、大学が続く。**

[プレントリー][一次選考応募][最終的な就職先]をそれぞれ選ぶときの情報源は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」がトップで、「個別企業・団体の採用ホームページ・パンフレットなどの広報物や社員」「大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」などが続く。(図表17-1~3)

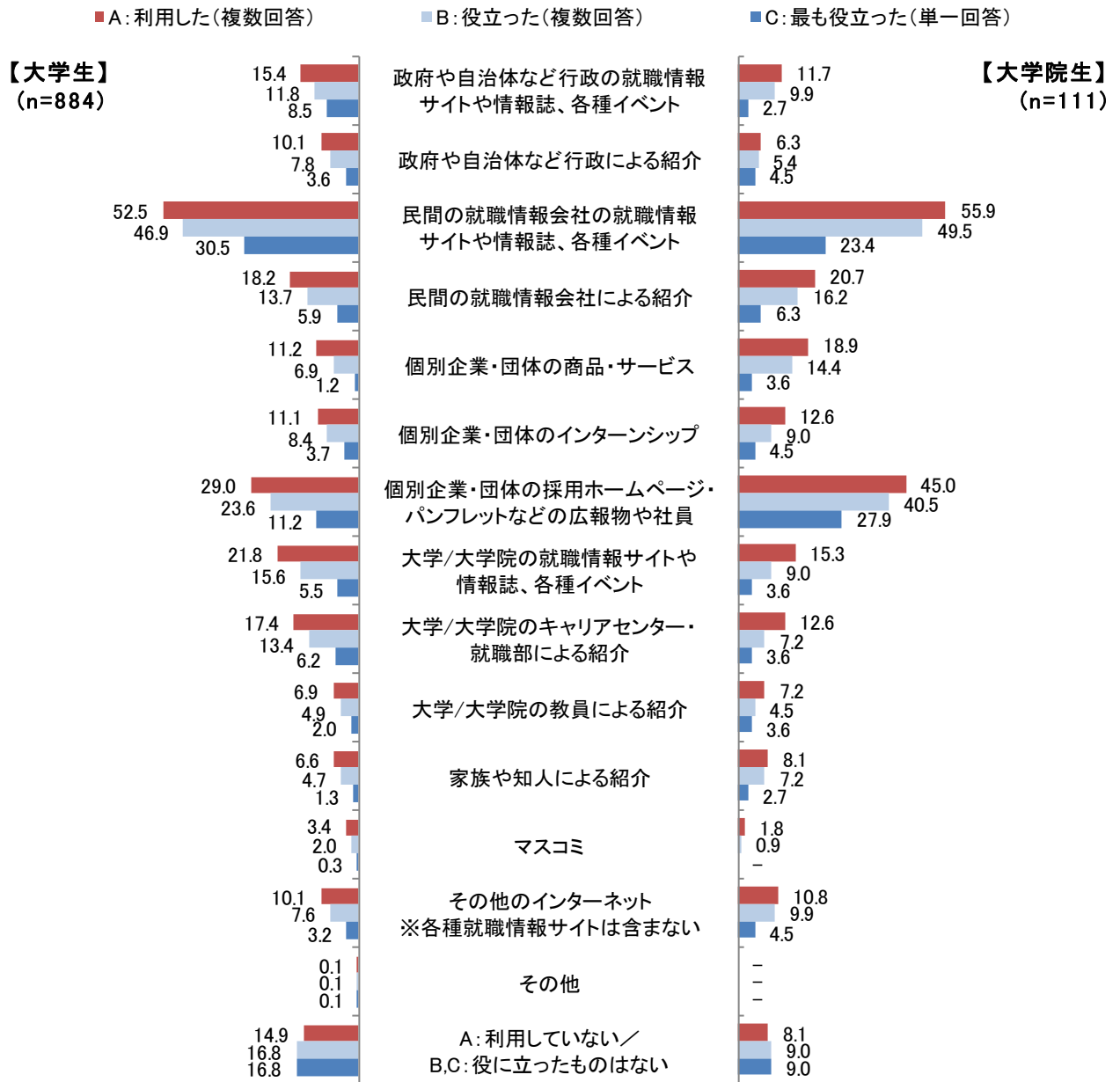
最終的な就職先の認知経路は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」がトップとなっている。属性別にみると、文系大学生で「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」に集中しているが、理系大学生では「大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」からの認知も高い。(図表18)

図表17-1 プレントリー(資料・採用情報の請求)する対象を選ぶ時の情報源(単位=%)



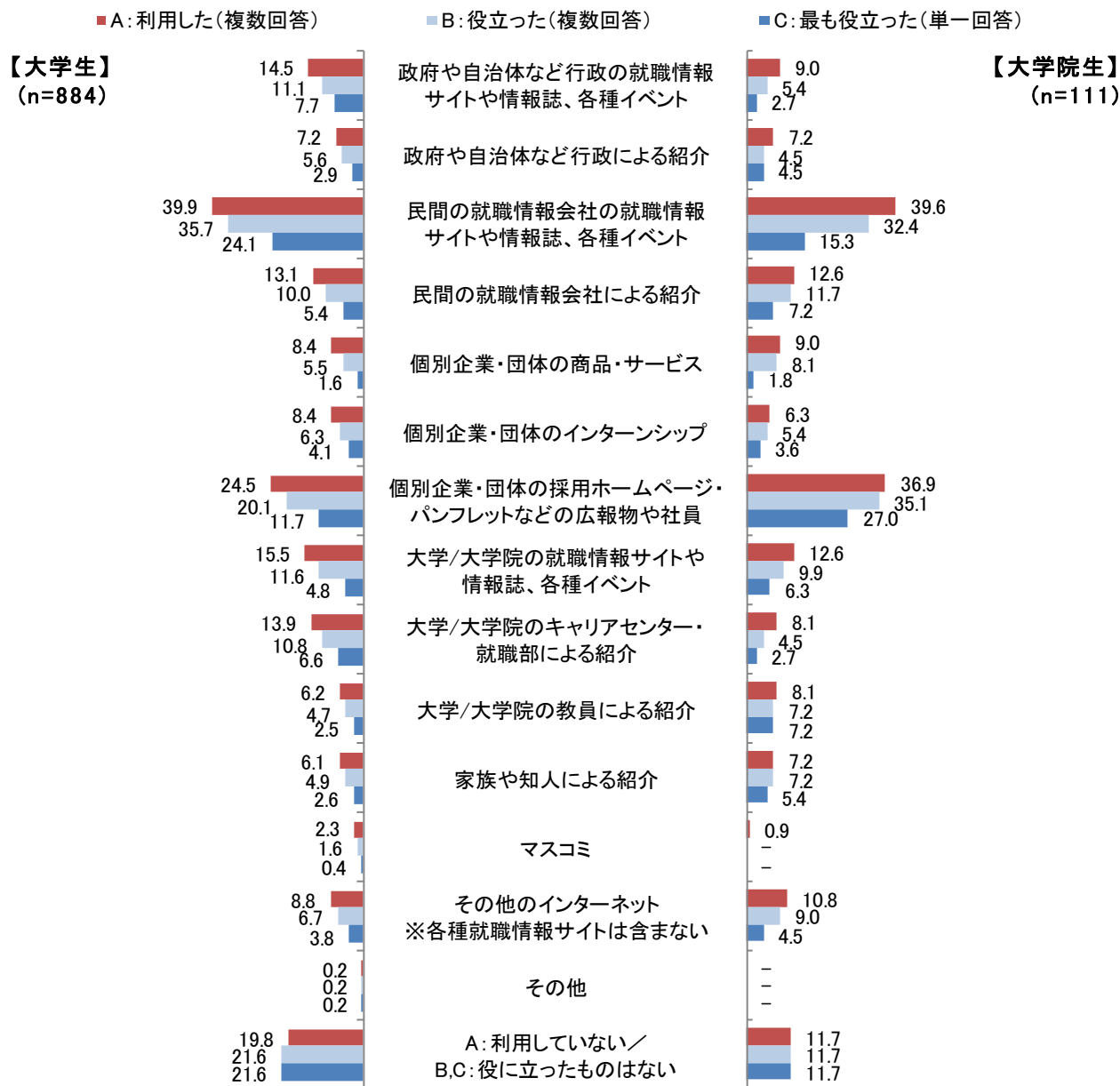
⑦就職予定先に関する情報源

図表17-2 一次選考に応募する対象を選ぶ時の情報源(単位=%)



⑦就職予定先に関する情報源

図表17-3 最終的な就職先を選ぶときの情報源(単位=%)



図表18 最終的な就職先の認知経路(複数回答、単位=%)

	n	政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	政府や自治体など行政による紹介	民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	民間の就職情報会社による紹介	就職予定先企業・団体の商品・サービス	就職予定先企業・団体のインターンシップ	就職予定先企業・団体の採用HP・パンフレットなどの広報物や社員	大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	大学/大学院のキャリアセンター・就職部による紹介	大学/大学院の教員による紹介	家族や知人による紹介	マスコミ	その他のインターネット ※各種就職情報サイトは含まない	その他	わからない・覚えていない
大学生	771	10.4	4.7	<b>40.5</b>	13.8	6.7	5.9	12.9	21.8	16.1	5.9	9.6	3.2	2.6	2.9	4.1
文系	537	11.0	5.7	<b>43.9</b>	13.1	6.2	5.5	13.1	17.7	13.9	2.9	9.4	4.3	3.4	3.5	5.4
国公立	100	7.0	4.5	<b>48.1</b>	9.0	6.4	3.2	14.7	15.4	14.2	3.9	12.3	7.1	4.7	-	3.8
私立	436	11.9	6.0	<b>42.9</b>	14.1	6.2	6.1	12.7	18.2	13.8	2.7	8.8	3.6	3.1	4.3	5.7
理系	235	9.2	2.6	<b>32.6</b>	15.3	7.8	6.9	12.4	31.3	21.2	12.6	10.0	0.7	0.8	1.5	1.4
国公立	73	9.0	4.5	<b>34.8</b>	14.8	10.7	7.4	7.6	33.8	8.8	10.7	11.2	-	0.7	2.2	0.7
私立	162	9.2	1.7	<b>31.5</b>	15.5	6.5	6.6	14.6	30.2	26.7	13.5	9.5	1.1	0.9	1.2	1.6
大学院生	97	6.2	3.1	<b>33.0</b>	13.4	10.3	9.3	19.6	21.6	16.5	10.3	11.3	6.2	5.2	1.0	10.3

\* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

\* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑧就職予定先を選ぶ際の重視点

**就職確定者が就職予定先を選ぶ際の重視点は、大学生、大学院生ともに「業種」がトップ。大学院生で「専攻などの経験」「経営理念」、文系国公立大学生で「勤務地」を重視。**

就職確定者が就職予定先を選ぶ際の重視点は、大学生・大学院生ともに「業種」がトップ。大学院生は大学生と比べて、「大学院の専攻やこれまでの経験・取得資格を活かせるか」「経営理念・ビジョン」の割合が高く、「職制(コース)」などの割合が低い。属性別にみると、私立大学生、関東・近畿地域の大学生で「業種」、国公立大学生、中部・その他地域の大学生で「勤務地」を重視する傾向が強い。(図表19-1)

図表19-1 就職確定者の就職予定先を選ぶときの重視点(複数回答、単位=%)

	大 学 生	文 系	国 公 立	私 立	理 系	国 公 立	私 立	関 東	中 部	近 畿	そ の 他	大 学 院 生
	(n=)	(771)	(537)	(100)	(436)	(235)	(73)	(162)	(295)	(100)	(185)	(191)
業種	75.1	73.1	64.7	75.0	79.8	70.9	83.8	74.7	72.4	78.6	73.7	80.4
職制(コース)※1	42.9	45.1	47.5	44.5	38.0	34.2	39.6	43.9	40.9	41.1	44.1	26.8
職種※2	49.4	47.4	43.6	48.2	54.2	54.5	54.0	46.5	55.0	47.9	52.6	41.2
勤務地	68.8	71.6	75.6	70.7	62.3	72.1	57.9	59.1	76.8	66.7	81.4	67.0
雇用形態	43.9	45.1	48.2	44.4	41.1	35.8	43.5	44.0	50.2	42.9	41.3	38.1
民間企業・団体が、 それ以外(公務員・教員など)か	18.7	19.1	23.0	18.2	17.7	29.4	12.4	17.6	18.1	16.2	23.0	20.6
外資企業・団体が 内資企業・団体が※3	6.5	7.0	7.6	6.9	5.4	6.7	4.9	6.6	8.5	5.3	6.5	6.2
大学・大学院の専攻やこれまでの 経験・取得資格を活かせるか	17.9	14.5	19.3	13.4	25.8	25.3	26.0	15.2	14.9	12.4	29.1	38.1
従業員規模	14.9	14.9	12.9	15.3	15.1	17.6	14.0	12.1	21.2	14.4	16.4	17.5
知名度	22.8	23.1	23.9	22.9	22.3	24.3	21.4	20.6	31.7	18.8	25.6	23.7
経営理念・ビジョン	25.9	25.8	24.5	26.1	26.1	30.7	24.0	23.6	31.4	27.0	25.5	38.1
事業の安定性・将来性	43.7	43.3	45.1	42.9	44.6	49.5	42.5	39.4	53.6	43.8	45.1	46.4
給与水準	50.5	47.3	54.6	45.6	57.7	50.3	61.1	47.1	52.0	46.9	58.3	56.7
勤務時間・休暇	51.2	51.2	53.4	50.7	51.1	50.6	51.3	45.0	55.2	51.8	58.0	49.5
組織風土・職場の人間関係	34.4	34.1	40.5	32.6	35.3	31.0	37.3	34.0	39.7	30.9	35.8	40.2
内定取得の可能性	25.9	25.0	29.5	23.9	28.1	25.0	29.5	24.9	26.5	21.8	31.1	22.7
就職活動の負荷・手間※4	11.9	11.5	12.8	11.2	12.9	13.6	12.5	10.3	6.6	11.8	17.3	14.4
その他	0.5	0.8	-	0.9	-	-	-	0.9	0.7	0.4	-	1.0

※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

※4: 説明会の位置づけ(参加が必須かどうか)、提出書類の数や内容、内定までの選考の種類や回数、時間など

\* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

\* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。



⑧就職予定先を選ぶ際の重視点

就職確定者が就職予定先を選ぶ際の最重視点は、大学生が「業種」「勤務地」で4割半ばを占める一方、大学院生は「勤務地」「業種」「大学院の専攻やこれまでの経験・取得資格を活かせるか」「職種」「事業の安定性・将来性」が1割台で分散している。

属性別にみると、国公立大学の文系大学生、中部・その他地域の大学生は「勤務地」を最も重視している。  
(図表19-2)

図表19-2 就職確定者の就職予定先を選ぶときの最重視点(単一回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系 (537)	理系		関東	中部	近畿	その他	大学院生 (97)			
			国公立 (100)	私立 (436)								
業種	24.2	22.1	14.7	23.7	28.9	24.5	31.0	28.3	18.5	26.5	18.4	15.5
職制(コース)※1	3.1	3.6	3.9	3.6	1.9	0.7	2.4	5.6	0.6	1.8	1.8	3.1
職種※2	7.6	7.5	7.1	7.5	7.8	11.5	6.2	7.2	6.9	8.5	7.6	12.4
勤務地	20.8	23.4	24.9	23.1	14.7	16.2	14.0	13.9	28.8	19.3	28.7	18.6
雇用形態	4.2	4.7	3.8	4.9	2.9	2.9	3.0	4.6	4.5	4.9	2.6	2.1
民間企業・団体か、 それ以外(公務員・教員など)か	0.7	0.9	3.2	0.3	0.2	-	0.3	0.8	0.7	0.7	0.3	-
外資企業・団体か 内資企業・団体か※3	0.1	0.1	-	0.1	-	-	-	-	0.6	-	-	-
大学・大学院の専攻やこれまでの 経験・取得資格を活かせるか	2.9	1.5	2.6	1.2	6.2	4.5	6.9	3.0	1.9	2.1	4.1	13.4
従業員規模	0.1	-	-	-	0.2	-	0.3	0.2	-	-	-	-
知名度	0.9	0.4	1.3	0.2	2.1	2.4	2.0	1.3	-	0.7	0.9	1.0
経営理念・ビジョン	3.7	3.9	3.9	3.9	3.4	5.5	2.5	2.2	6.7	6.1	2.4	6.2
事業の安定性・将来性	5.7	5.2	9.0	4.4	6.9	14.8	3.4	5.9	8.6	6.1	3.5	12.4
給与水準	5.6	5.6	5.1	5.8	5.6	6.2	5.3	3.5	4.4	3.8	11.3	2.1
勤務時間・休暇	7.1	7.9	4.4	8.7	5.2	2.2	6.6	8.3	4.3	8.5	5.2	3.1
組織風土・職場の人間関係	8.3	8.5	12.3	7.6	8.0	6.7	8.6	9.3	11.4	6.0	7.5	5.2
内定取得の可能性	3.0	2.9	2.6	3.0	3.4	0.7	4.6	4.2	0.6	2.2	3.4	2.1
就職活動の負荷・手間※4	1.5	1.1	1.3	1.1	2.4	1.4	2.9	0.6	0.7	2.4	2.4	2.1
その他	0.5	0.8	-	0.9	-	-	-	0.9	0.7	0.4	-	1.0

※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資=日本国外に本社がある企業・団体、内資=日本国内に本社がある企業・団体

※4: 説明会の位置づけ(参加が必須かどうか)、提出書類の数や内容、内定までの選考の種類や回数、時間など

\* 属性ごとに選率が最も多い区分を赤字にした。

\* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑨在学中に実施したこと

**在学中に実施した活動は、大学生で「アルバイト」、大学院生で「修論」が最も高い。  
前年から、大学生、大学院生ともに「インターンシップ」「アルバイト」が増加。**

在学中に実施していた活動は、大学生は「アルバイト」、大学院生は「修論」が最も高い。属性別にみると、文系大学生で「英語などの外国語学習」、理系大学生で「ゼミや研究室での活動」「卒論、卒業研究」の割合が高い。

2016年調査と比べると、国公立大学生で「ゼミや研究室での活動」「卒論、卒業研究」の活動率が増加し、「海外留学」が減少している。(図表20)

図表20 在学中に実施した活動(複数回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系		理系	関東		中部	近畿	その他	大学院生		
		国公立	私立		国公立	私立						
海外留学	(884)	(594)	(119)	(475)	(290)	(93)	(197)	(342)	(108)	(209)	(226)	(111)
海外留学	10.2 (-1.9)	11.8 (-1.7)	12.3 (-15.8)	11.6 (-0.9)	6.9 (-2.4)	5.8 (-12.8)	7.4 (0.5)	10.5 (1.1)	11.1 (3.2)	10.5 (-6.3)	8.9 (-7.4)	12.6 (-7.0)
サークル活動	38.5 (-0.4)	39.0 (-1.5)	47.0 (-1.0)	37.0 (-3.0)	37.4 (1.9)	42.3 (-9.9)	35.0 (3.8)	43.7 (2.2)	33.6 (-6.2)	31.7 (0.1)	39.1 (-1.3)	40.5 (-2.0)
部活動	19.2 (-0.6)	18.1 (1.4)	27.3 (1.4)	15.9 (-0.2)	21.5 (-4.7)	27.0 (-6.2)	18.9 (-5.5)	15.2 (-1.1)	13.1 (-10.9)	26.5 (1.8)	21.7 (1.7)	15.3 (-5.6)
ボランティア	22.7 (1.7)	24.5 (4.7)	29.6 (20.2)	23.2 (2.7)	19.1 (-4.5)	13.8 (-15.8)	21.6 (-0.4)	18.2 (-0.6)	31.3 (16.0)	18.4 (-0.0)	29.5 (-5.0)	10.8 (-6.8)
アルバイト	<b>82.7</b> (2.9)	<b>83.7</b> (0.9)	<b>86.5</b> (0.1)	<b>83.0</b> (0.5)	<b>80.7</b> (6.9)	<b>81.8</b> (7.8)	<b>80.3</b> (6.5)	<b>82.8</b> (4.0)	<b>85.7</b> (6.8)	<b>86.1</b> (7.6)	<b>78.0</b> (-6.3)	81.1 (5.4)
インターンシップ	38.4 (5.5)	37.8 (4.8)	41.7 (-5.1)	36.9 (4.7)	39.5 (7.0)	43.2 (13.9)	37.8 (4.4)	40.8 (5.6)	41.0 (13.2)	30.1 (1.6)	41.1 (4.9)	43.2 (9.5)
公務員・教員採用試験のための教育・学習活動	11.9 (-0.6)	12.6 (0.5)	22.7 (3.6)	10.1 (-1.6)	10.3 (-2.9)	13.9 (-4.7)	8.6 (-3.3)	12.1 (-0.4)	13.9 (-0.1)	9.5 (1.9)	12.7 (-4.9)	10.8 (0.7)
英語などの外国語学習	15.6 (-4.0)	19.2 (-0.1)	21.1 (-15.1)	18.7 (0.6)	8.2 (-11.9)	11.6 (-14.5)	6.6 (-12.0)	17.6 (-1.8)	12.2 (-8.0)	15.1 (-7.5)	14.6 (-1.1)	30.6 (0.9)
趣味など、自分の興味がある分野の活動	44.4 (-4.0)	43.3 (-5.5)	54.2 (17.4)	40.6 (-9.0)	46.6 (-1.0)	41.9 (1.1)	48.9 (-0.5)	44.7 (-5.2)	43.5 (-8.9)	43.4 (-0.1)	45.3 (-2.4)	50.5 (3.8)
スポーツ関連の活動	10.5 (-1.0)	8.0 (-3.3)	8.8 (-0.9)	7.8 (-3.7)	15.5 (3.9)	15.0 (-7.5)	15.7 (6.9)	8.1 (-7.2)	10.9 (2.3)	12.1 (3.5)	12.3 (5.2)	8.1 (-8.1)
資格取得・検定受験のための学習活動	34.8 (-2.5)	37.1 (-1.0)	38.4 (8.4)	36.7 (-1.8)	30.2 (-5.7)	25.4 (-7.8)	32.5 (-4.1)	32.1 (-0.4)	36.8 (3.5)	37.8 (-8.5)	35.2 (-5.9)	25.2 (-5.2)
ゼミや研究室での活動	64.2 (1.6)	61.3 (1.6)	74.7 (16.0)	57.9 (-1.8)	70.1 (1.7)	74.3 (11.5)	68.1 (-1.8)	62.0 (-1.5)	63.0 (2.9)	69.2 (13.3)	63.4 (-6.9)	77.5 (-1.6)
授業への出席	73.9 (0.6)	72.8 (0.6)	79.5 (11.4)	71.1 (-1.4)	76.2 (0.7)	81.6 (15.2)	73.6 (-4.2)	73.2 (-1.2)	74.2 (4.1)	74.1 (5.6)	74.5 (-4.1)	78.4 (2.0)
卒論、卒業研究、修論	64.7 (-0.7)	59.1 (0.3)	70.3 (5.4)	56.3 (-2.1)	76.2 (-2.5)	79.0 (12.6)	74.9 (-6.9)	60.5 (-5.6)	71.3 (9.0)	64.1 (-1.6)	68.5 (2.9)	<b>86.5</b> (0.7)
あてはまるものはない	2.3 (0.8)	2.2 (0.0)	3.2 (0.3)	2.0 (-0.2)	2.4 (2.4)	1.9 (1.9)	2.6 (2.6)	1.7 (0.1)	3.5 (1.2)	1.9 (0.1)	2.9 (2.9)	1.8 (-0.9)

\* カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。\* 属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。

\* 2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑩就職活動による各活動への支障状況

**就職活動による各活動への支障状況(\*)は、大学生で「アルバイト」、大学院生で「ゼミや研究室での活動」が最も高い。前年から、大学生で「海外留学」「サークル」「資格取得」、大学院生で「修論」への支障度が改善。**

就職活動による各活動への支障状況(\*)は、大学生では「アルバイト」が最も高く、「部活動」「趣味など、自分の興味がある分野の活動」「公務員・教員採用試験のための教育・学習活動」などが続く。2016年調査と比べると、「海外留学」「サークル活動」「資格取得・検定受検のための学習活動」で支障が生じた割合が低下している。

大学院生では「ゼミや研究室での活動」「修論」で5～6割に支障が生じているものの、2016年調査と比べて、「修論」への支障は低下している。(図表21)

\*「支障が生じた」「やや支障が生じた」の回答者を合計

図表21 各活動実施者の就職活動による活動への支障状況(複数回答、単位=%)

	大学生			大学院生	▼回答者数(単位=人)			
	文系	理系			大学生	文系	理系	大学院生
履修登録	17.8 (-8.0)	20.3 (-6.5)	12.7 (-11.2)	9.0 (-9.9)	884	594	290	111
単位取得のための課題・試験	25.5 (-7.3)	27.5 (-7.1)	21.4 (-7.7)	18.9 (-4.7)	884	594	290	111
海外留学	23.7 (-15.2)	25.9 (-7.5)	16.0 (-38.7)	14.3 (-20.2)	90	70	20	14
サークル活動	23.8 (-11.3)	24.1 (-12.6)	23.2 (-8.4)	8.9 (-10.2)	340	232	108	45
部活動	50.5 (9.5)	54.0 (7.3)	44.5 (10.8)	11.8 (-10.8)	170	108	62	17
ボランティア	22.6 (-6.7)	22.9 (-4.5)	21.9 (-10.7)	16.7 (-6.4)	201	146	55	12
アルバイト	<b>53.9</b> (-4.9)	<b>54.2</b> (-6.9)	<b>53.4</b> (-0.3)	44.4 (-6.4)	731	497	234	90
インターンシップ	15.1 (-6.9)	13.7 (-5.8)	18.0 (-9.2)	14.6 (4.6)	339	225	115	48
公務員・教員採用試験のための教育・学習活動	48.5 (6.2)	50.3 (7.6)	44.0 (2.6)	50.0 (23.3)	105	75	30	12
英語などの外国語学習	36.9 (-7.9)	36.3 (-10.3)	39.8 (-1.6)	29.4 (-0.1)	138	114	24	34
趣味など、自分の興味がある分野の活動	48.7 (-5.7)	50.2 (-3.5)	45.9 (-9.8)	58.9 (3.9)	392	257	135	56
スポーツ関連の活動	36.4 (-8.0)	43.6 (-3.2)	28.6 (-10.9)	66.7 (37.5)	92	48	45	9
資格取得・検定受検のための学習活動	25.8 (-11.2)	22.6 (-13.7)	34.0 (-4.6)	32.1 (5.5)	308	220	88	28
ゼミや研究室での活動	41.8 (-3.6)	38.1 (-6.8)	48.5 (2.0)	<b>64.0</b> (-2.7)	567	364	203	86
授業への出席	36.0 (-6.7)	39.4 (-9.9)	29.5 (-0.7)	19.5 (-7.0)	653	432	221	87
卒論、卒業研究、修論	38.2 (-8.6)	35.5 (-12.5)	42.5 (-2.7)	54.2 (-13.5)	572	351	221	96

※支障が生じた・計:「支障が生じた」+「やや支障が生じた」

\*カッコ内は2016年とのスコア差を掲載。\*属性ごとに最も多い区分を**赤太字**にした。

\*2016年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けにした。

(回答者数が30未満のスコアを除く) \*回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

⑪勤務地の志向

**大学生の勤務地の志向は、都市部・首都圏派:4割、地方派:2割半ば、こだわらない派:1割後半。就職予定先を選ぶ際の重視点は、地方派は「勤務地」、それ以外のグループは「業種」がトップ。**

大学生の就職先勤務地の志望をもとにクラスター分析を実施し、回答者のグルーピングを行った。クラスターの構成比は、「都市部・首都圏派」が4割で最も高く、「地方派」が2割半ば、「こだわらない派」が1割後半となっている。(図表22)

各クラスター別の特徴は、都市部・首都圏派は、「関東」居住者が多く、全員が「首都圏で就職したい」と回答している。地方派は、「中部」「中国・四国」「近畿」居住者が比較的多い。こだわらない派は、居住地の特徴はみられないが、「海外勤務できる企業に就職したい」が3割と、他のクラスターよりも高い(図表23、図表24)

クラスター分析の実施概要

クラスター分析とは、多変量解析の一手法で、ある特定の集団を統計的な基準に基づき、互いに似た者同士のグルーピング(クラスタリング)を行い、集団を分類する手法。

右記の調査結果をもとに、非階層クラスター分析(k-means法)を実施し、回答者をクラスタリング。

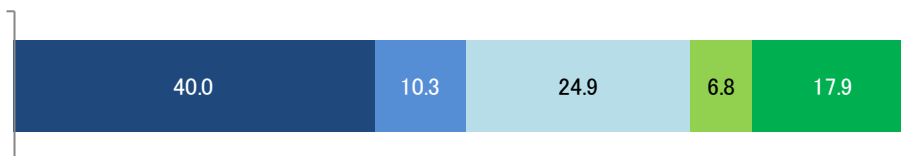
Q. 就職活動を実施した当初の、志望する就職先勤務地についてあなたの考えに近いものをご回答ください。

	1 あてはまる	2 あどては らまか ると いうと	3 あど てち はら まか らと ない う と	4 あて は ま ら な い
1. 地方で就職したい →	○	○	○	○
2. 都市部で就職したい →	○	○	○	○
3. 首都圏で就職したい →	○	○	○	○

図表22 大学生のクラスター構成比(単一回答、単位=%)

(n=884)

■都市部・首都圏派 ■都市部・非首都圏派 ■地方派 ■実家派 ■こだわらない派



図表23 クラスター別の就職活動開始当初の志望就職先勤務地(単一回答、単位=%)

	地方で 就職したい	都市部で 就職したい	首都圏で 就職したい	実家から 通える範囲で 就職したい	海外勤務 できる企業に 就職したい
大学生 (884)	42.1	66.0	53.4	63.1	18.9
都市部・首都圏派 (354)	-	94.5	100.0	57.5	24.3
都市部・非首都圏派 (91)	3.4	100.0	-	65.9	18.2
地方派 (220)	100.0	14.3	1.2	70.6	5.2
実家派 (60)	-	-	0.9	50.7	8.9
こだわらない派 (159)	94.0	79.4	72.6	68.4	30.1

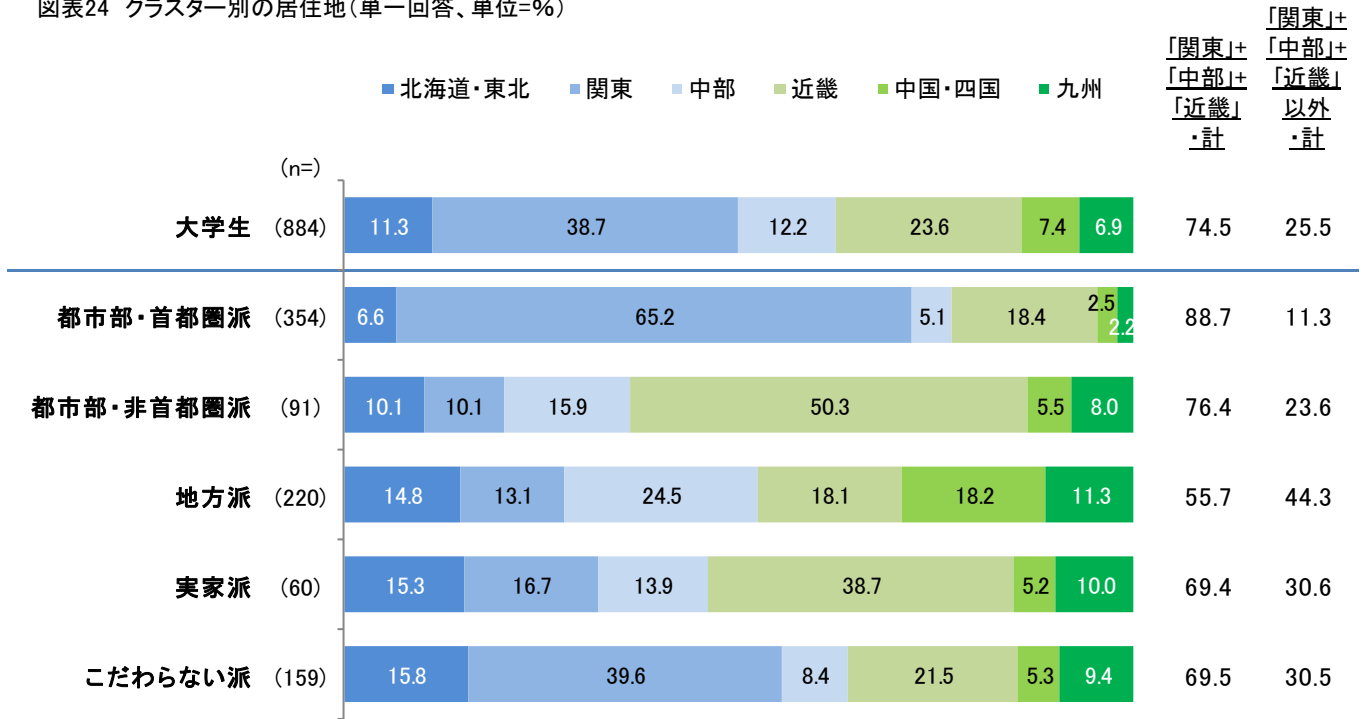
※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというあてはまる」

⑪勤務地の志向

クラスター別の就職予定先への満足・計(\*)は、地方派、こだわらない派が9割強に対し、都市部・首都圏派、実家派が8割後半と、若干の開きがみられる。また、都市部・首都圏派は「満足している」が4割と高い一方で、1割強が「どちらか」と満足していない」「満足していない」と回答しており、満足度にバラツキがみられる。(図表25)

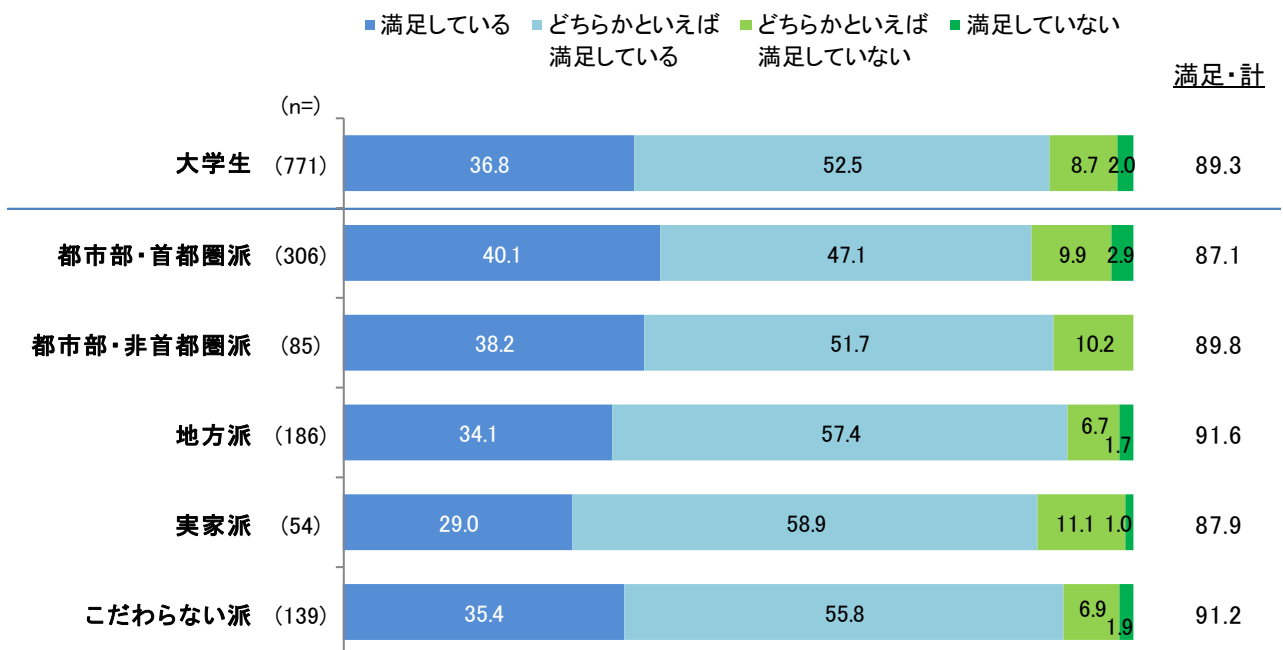
\*「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答者を合計

図表24 クラスター別の居住地(単一回答、単位=%)



図表25 クラスター別の就職先への満足度状況(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベースに限定して聴取。



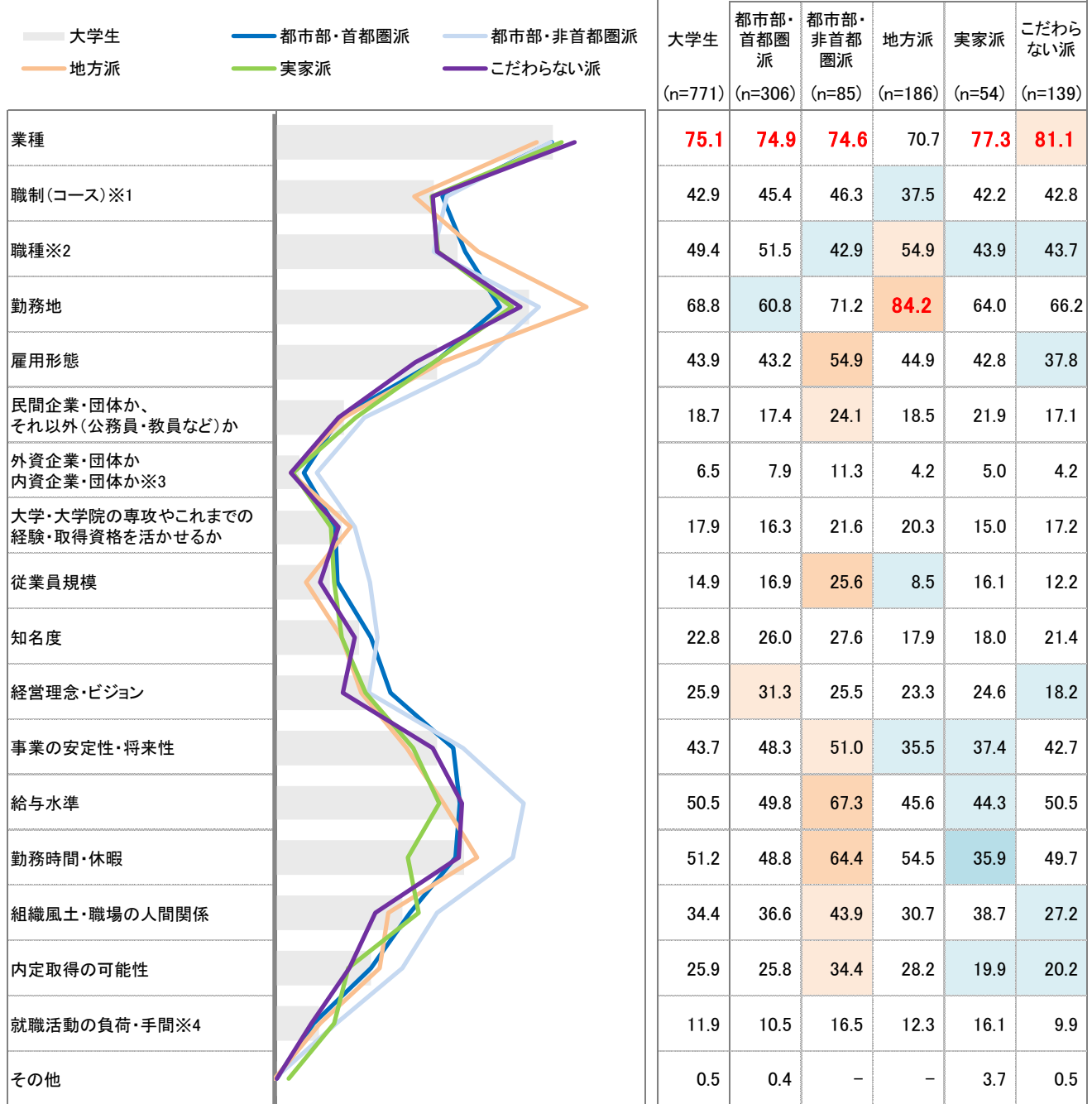
※満足・計:「満足している」+「どちらかといえば満足している」

⑪勤務地の志向

クラスター別の就職予定先を選ぶ際の重視点は、地方派は「勤務地」、それ以外のクラスターは「業種」が最も高い。

クラスター別にみると、都市部・非首都圏派で「雇用形態」「従業員規模」「給与水準」「勤務時間・休暇」を重視する傾向が強い。また、都市部・首都圏派で「経営理念・ビジョン」、地方派で「職種」の重視度が比較的高い。(図表26-1)

図表26-1 クラスター別の就職予定先を選ぶときの重視点(複数回答、単位=%)  
※就職確定者ベースに限定して聴取。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資=日本国外に本社がある企業・団体、内資=日本国内に本社がある企業・団体

※4: 説明会の位置づけ(参加が必須かどうか)、提出書類の数や内容、内定までの選考の種類や回数、時間など

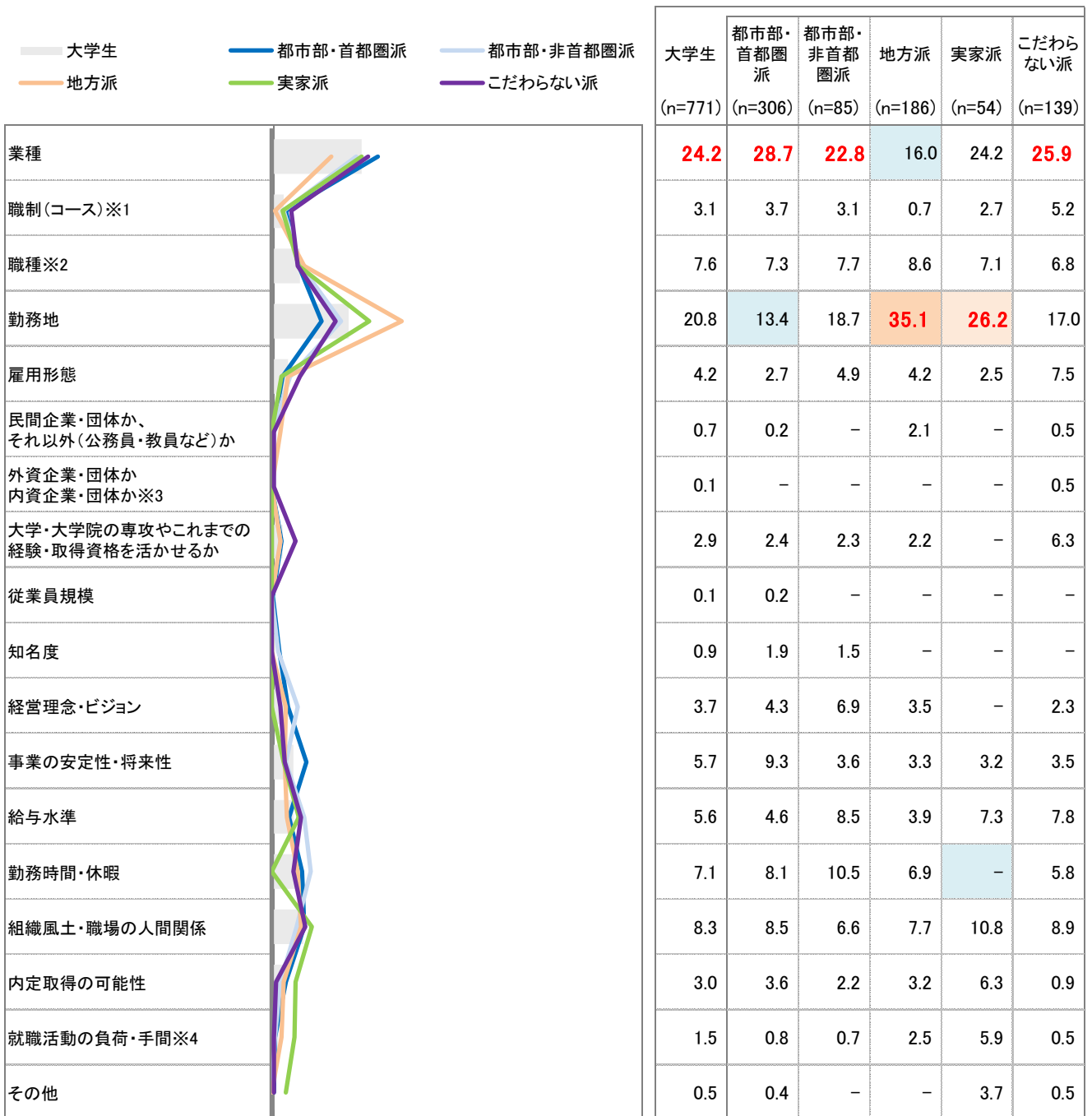
\* 属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。

\* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑪勤務地の志向

クラスター別の就職予定先を選ぶ際の最重視点は、すべてのクラスターで「業種」「勤務地」に回答が集中しているが、都市部・首都圏派、都市部・非首都圏派、こだわらない派で「業種」、地方派、実家派で「勤務地」を最も重視している。(図表26-2)

図表26-2 クラスター別の就職予定先を選ぶときの最重視点(単一回答、単位=%)  
※就職確定者ベースに限定して聴取。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資=日本国外に本社がある企業・団体、内資=日本国内に本社がある企業・団体

※4: 説明会の位置づけ(参加が必須かどうか)、提出書類の数や内容、内定までの選考の種類や回数、時間など

\* 属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。

\* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑫従業員規模の志向

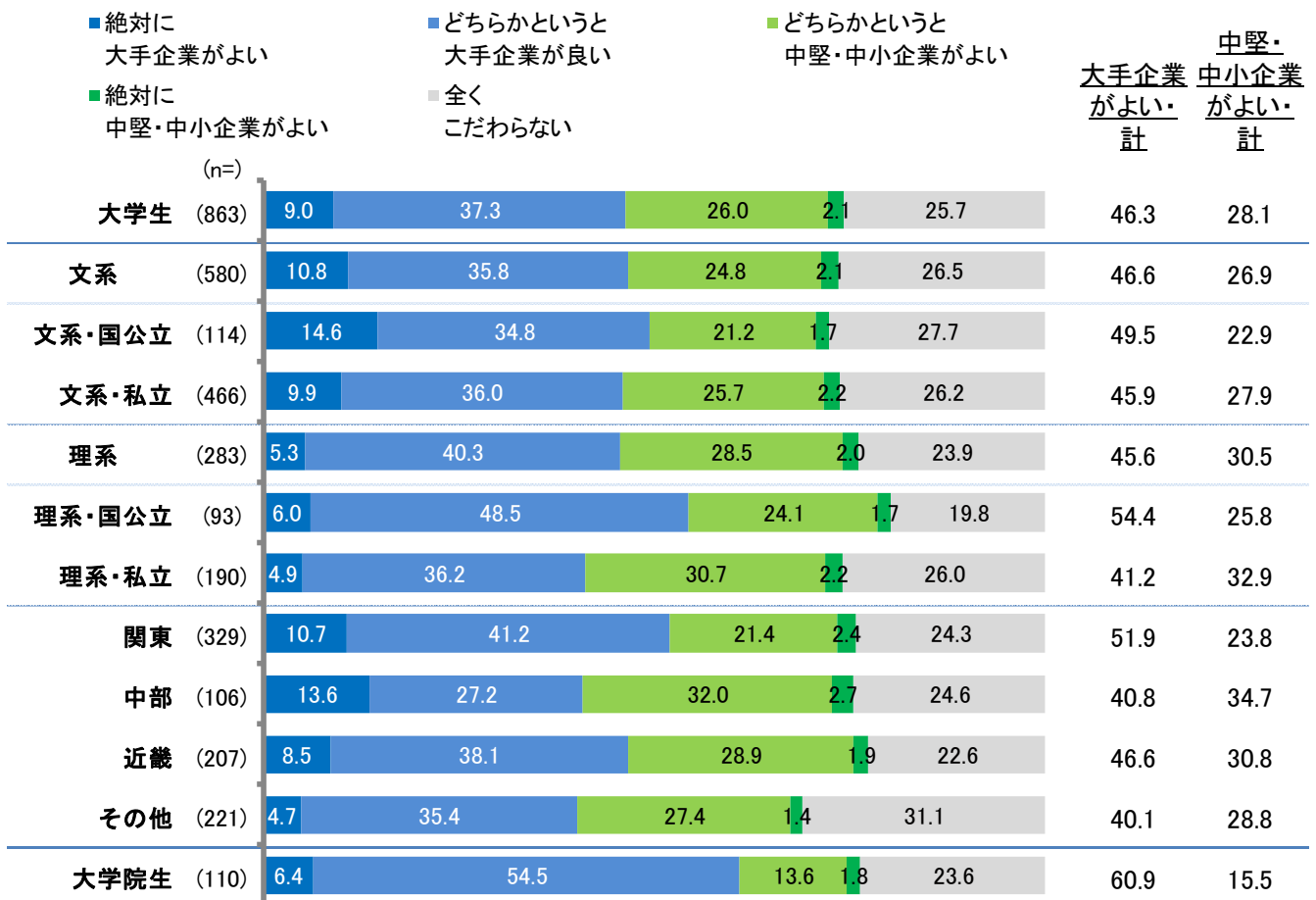
**大学生の志望従業員規模は、4割半ばが「大手派」、「中堅・中小企業派」「こだわらない派」が2割半ばで拮抗。大学院生、国公立大学の理系大学生で、大手志向が強い。**

就職活動の開始当初に志望した従業員規模は、大学生の4割半ば、大学院生の6割が大手企業がよい・計(\*)となっており、大学院生のほうが大手志向が強い。なお、大学生・大学院生ともに2割以上が「全くこだわらない」と回答している。

属性別にみると、国公立大学の理系大学生、関東地域の大学生で大手企業がよい・計が高い一方、その他地域の大学生は「全くこだわらない」が3割を超えている。(図表27)

\*「絶対に大手企業がよい」「どちらかというと大手企業がよい」の回答者を合計

図表27 就職活動開始当初の志望従業員規模(単一回答、単位=%)  
※企業就職志望者ベース



※大手企業がよい・計:「絶対に大手企業がよい」+「どちらかというと大手企業がよい」

※中堅・中小企業がよい・計:「どちらかというと中堅・中小企業がよい」+「絶対に中堅・中小企業がよい」



⑫従業員規模の志向

志望従業員規模別の属性は、大手派で「男性」「関東」居住者の割合が高い。一方、こだわらない派は、大手派、中堅・中小派と比べて、「女性」の割合が比較的高い。(図表28、29)

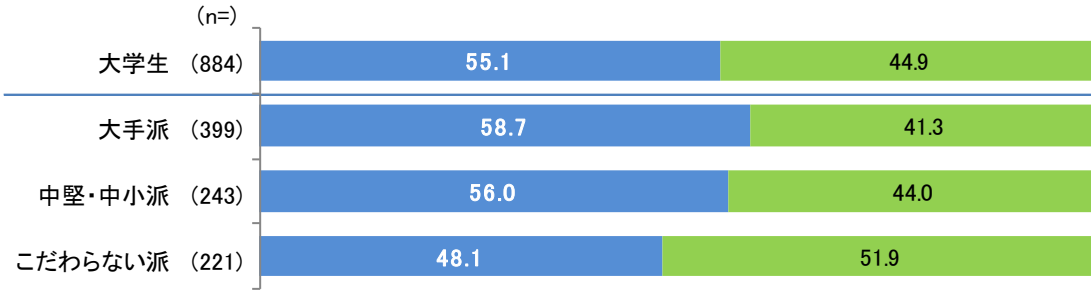
志望従業員規模別の就職予定先の満足度は、大手派は9割が満足・計(\*)となっており、4割半ばが「満足している」と回答している。一方、こだわらない派の満足・計(\*)は8割半ばにとどまる。(図表30)

\*「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答者を合計

図表28 志望従業員規模別の性別(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。

■ 男性 ■ 女性

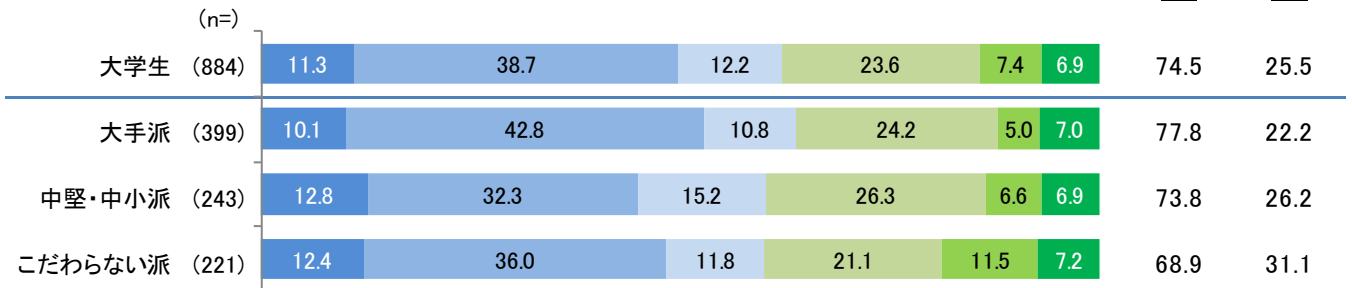


図表29 志望従業員規模別の居住地(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。

■ 北海道・東北 ■ 関東 ■ 中部 ■ 近畿 ■ 中国・四国 ■ 九州

「関東」+「中部」+「近畿」:計  
「関東」+「中部」+「近畿」以外:計

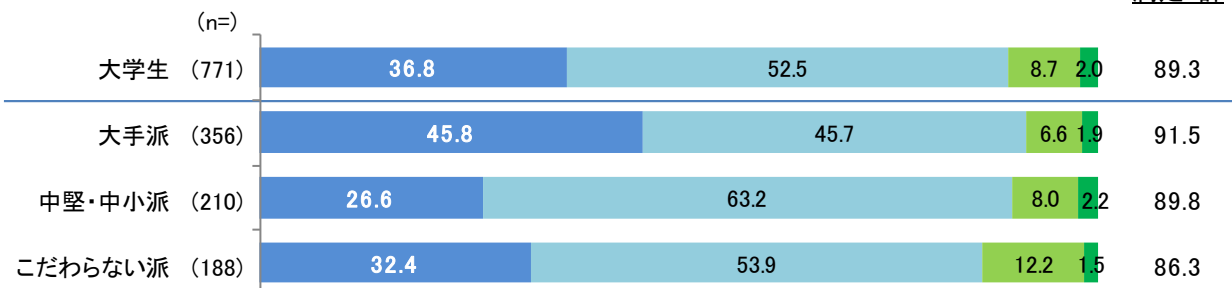


図表30 志望従業員規模別の就職予定先の満足度状況(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。

■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ どちらかといえば満足していない ■ 満足していない

満足・計



※満足・計:「満足している」+「どちらかといえば満足している」

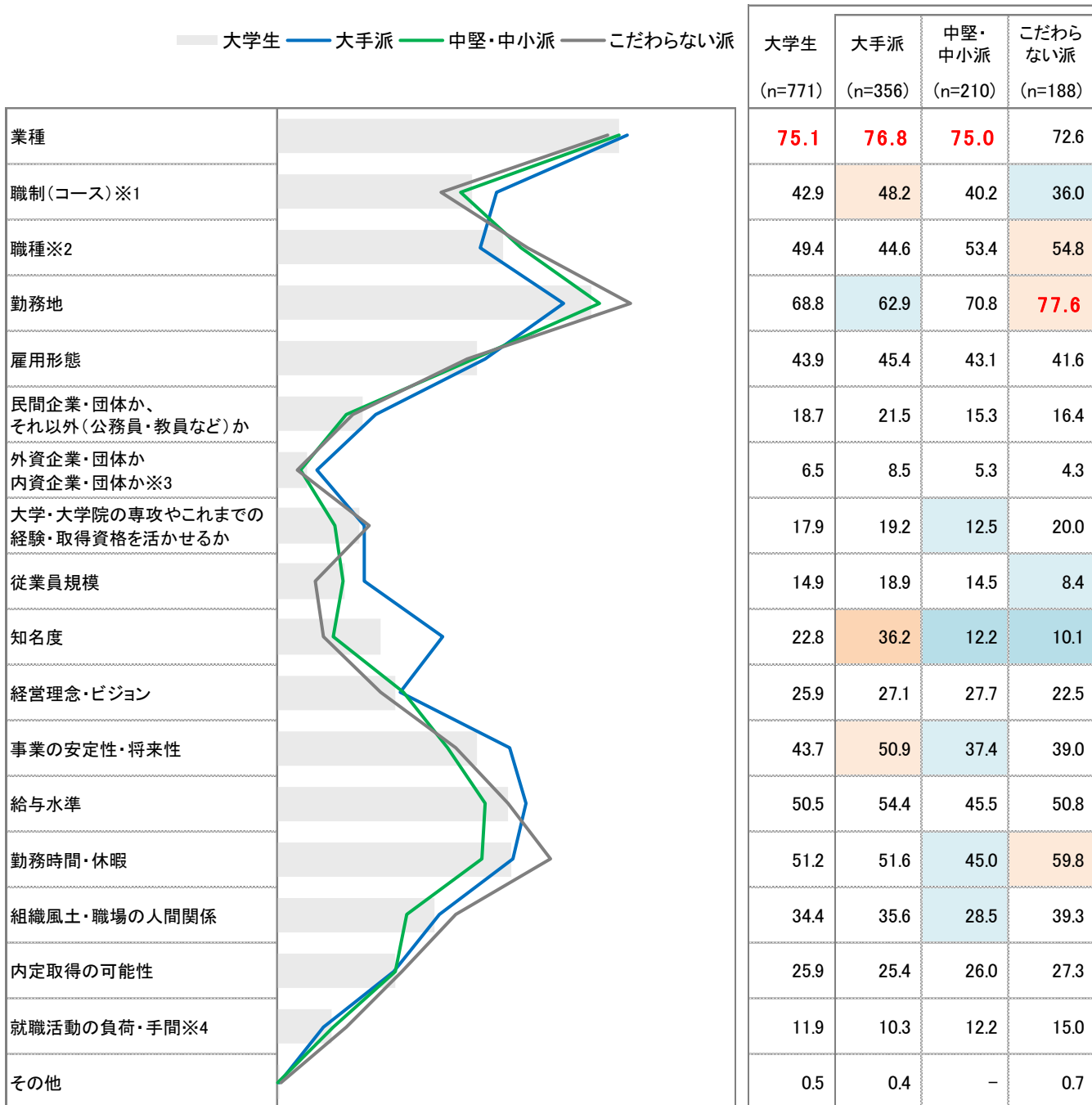
⑫従業員規模の志向

志望従業員規模別の就職予定先を選ぶ際の重視点は、大手派、中堅・中小派は「業種」、こだわらない派で「勤務地」が最も高い。

大手派で「職制(コース)」「知名度」「事業の安定性・将来性」、こだわらない派で「職種」「勤務時間・休暇」を重視する傾向が強い。(図表31-1)

図表31-1 志望従業員規模別の就職予定先を選ぶときの重視点(複数回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資=日本国外に本社がある企業・団体、内資=日本国内に本社がある企業・団体

※4: 説明会の位置づけ(参加が必須かどうか)、提出書類の数や内容、内定までの選考の種類や回数、時間など

\* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

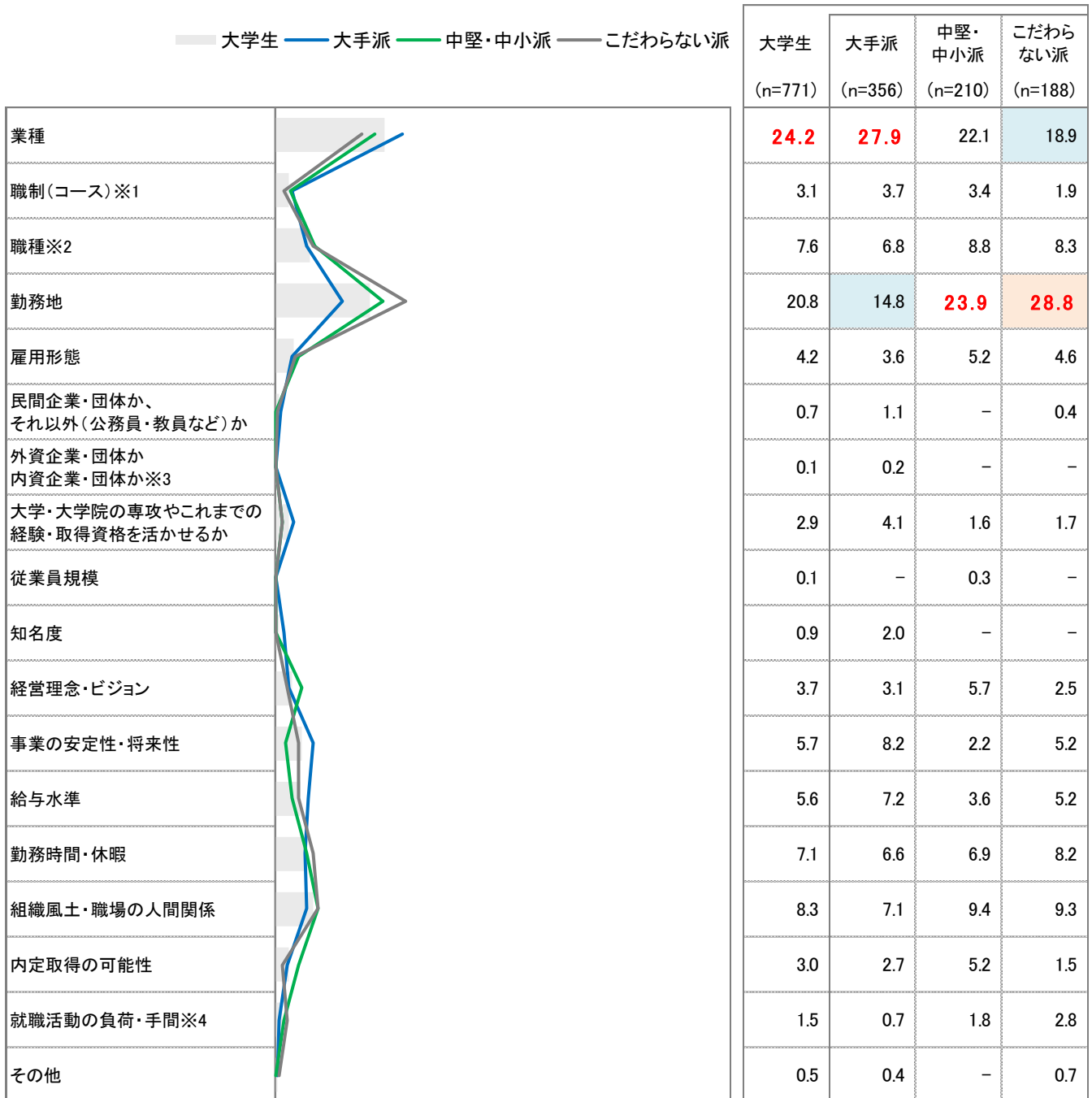
\* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑫従業員規模の志向

志望従業員規模別の就職予定先を選ぶ際の最重視点は、すべての属性で「業種」「勤務地」に回答が集中しているが、大手派は「業種」、中堅・中小派、こだわらない派では「勤務地」を最も重視している。(図表31-2)

図表31-2 志望従業員規模別の就職予定先を選ぶときの最重視点(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

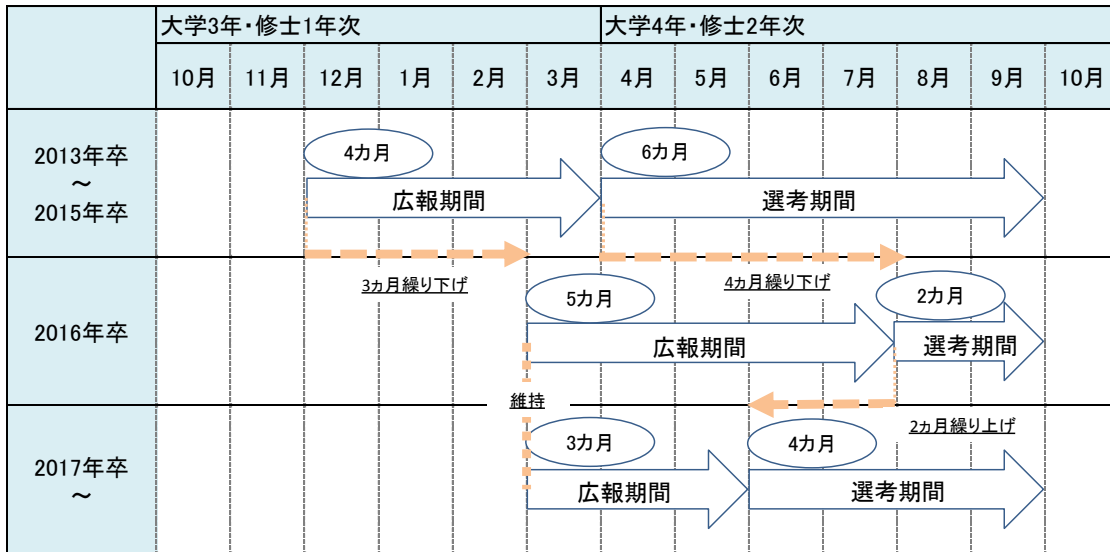
※3: 外資=日本国外に本社がある企業・団体、 内資=日本国内に本社がある企業・団体

※4: 説明会の位置づけ(参加が必須かどうか)、提出書類の数や内容、内定までの選考の種類や回数、時間など

\* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

\* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

●2013年卒以降のスケジュール変更の詳細



●公益社団法人全国求人情報協会とは

公益社団法人全国求人情報協会(理事長:鈴木孝二 略称:全求協)は、1985年2月に設立。全国の有料求人情報誌・フリーペーパー・折込求人紙・求人サイトを運営・発行する64社の会員で構成されており、自主規制のための掲載基準作成、求人情報に関する苦情・相談業務や調査・研究などの活動を実施。会員の年間求人広告件数は1471万件(2016年, 55社の計)にのぼる。

●新卒等若年雇用部会とは

新卒等若年雇用を巡る問題が我が国の労働市場における大きな課題となる中、その課題に取り組むための専門部会として、2013年に「新卒等若年雇用部会」を設置。マッチングの高度化を通じ、よりよい就職・採用がスムーズ行われるよう、とりわけ集团的就職活動特有の課題をまとめ、様々なアクションプラン等を検討、実行している。

●公益社団法人全国求人情報協会 新卒等若年雇用部会 会員企業 (社名五十音順)

株式会社アクセスヒューマネクスト、株式会社アルバイトタイムス、株式会社イフ、株式会社学情、株式会社KG情報、株式会社廣済堂、株式会社ジェイ・ブロード、株式会社ダイヤモンド・ヒューマンリソース、株式会社ディスコ、株式会社文化放送キャリアパートナーズ、株式会社北海道アルバイト情報社、株式会社マイナビ、株式会社リクルートキャリア